

第27回 日本腹部放射線研究会

The Japanese Society of Abdominal Radiology (JSAR)

プログラム・抄録集

会 期：2013年6月21(金)～22日(土)

会 場：宇都宮東武ホテルグランデ

〒320-0033 栃木県宇都宮市本町 5-12

TEL：028-627-0111 FAX：028-643-2121

HP アドレス：<http://www.tobuhotel.co.jp/utsunomiya/>

当番世話人：楯 靖

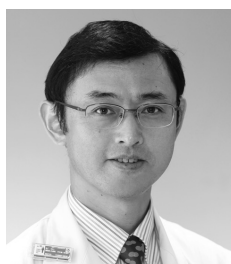
獨協医科大学 放射線医学講座

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林 880

E-mail：fukubuhou2013@dokkyomed.ac.jp

研究会HP：<http://www.jsar.jp/27th>

(第27回ホームページ上の「宿泊・旅行案内」もご利用ください)



第27回 日本腹部放射線研究会

当番世話人 楳 靖

獨協医科大学 放射線医学講座

第27回日本腹部放射線研究会を平成25年6月21日(金)・22日(土)に栃木県宇都宮市の宇都宮東武ホテルグランデで開催いたします。地方都市での開催ですが、例年と変わらない多くの演題をご応募いただきました。皆様に満足していただけるよう、教室員一同、協力して会の運営にあたりますので、よろしくお願い申し上げます。

口演発表では、腹部領域を専門とされる病理学の先生方にコメンテーターとしてご協力いただきます。発表時間5分間に対し、病理コメントを含めた討議時間を4分間確保していますので、会場の先生方からも活発な討論をお願いします。座長には地域性を意識して、主に東日本地区の先生方をお願いしました。本研究会が学術的な討論の場であるとともに、新たな交流が芽生えるきっかけになれば幸いです。

基調講演では、バイエル薬品株式会社のご協力の下、初日に獨協医大病理学(形態)の小島教授に炎症性偽腫瘍について、2日目には岩手医大分子診断病理学の菅井教授に胆道癌の臨床病理に関するご講演をお願いしています。

他のセミナーとして、初日にシーメンス・ジャパン株式会社にランチョンセミナー、東芝メディカルシステムズ株式会社にイブニングセミナーへのご協力をお願いいたしました。2日目には新たにモーニングセミナーを企画しGEヘルスケア・ジャパン株式会社に、ランチョンセミナーは株式会社フィリップス エレクトロニクス ジャパンにご協力をお願いしました。いずれも、最先端の領域を分かりやすくお話しいただきます。

ポスター発表では例年同様クイズ症例を設けています。成績優秀者には粗品を用意しましたので、ふるってご応募ください。また、恒例となったサッカー大会、テニス大会も開催いたします。

宇都宮で有名なものと言えば、「餃子」「カクテル」「とちおとめ」です。初日夜の情報交換会では、宇都宮餃子会のご協力で、市内の有名店の中から2店の屋台を出していただきます。ご期待ください。

私が本研究会の当番世話人に決定した時期は2011年10月で、原発事故災害により栃木県でも観光客が激減していたころです。まず、放射線科医が、少し空間線量率が高い那須地区あるいは日光・鬼怒川地区で研究会を行うことで、放射線とのつきあい方を全国にアピールできるのではないかと考え交渉を進めました。残念ながら実現にはいたりませんでした。どちらの観光地にも行きやすく宿泊施設も豊富な宇都宮で開催することとしました。日光東照宮のある地区は宇都宮からバスやJRで気軽に訪れることができ、その近隣には鬼怒川温泉もあります。またJRで少し北に向かうと、那須や塩谷温泉があります。ぜひ、一足伸ばしてお楽しみください。

最後に、貴重な症例をご応募くださった先生方、コメンテーターを快くお引き受けいただいた病理の先生方や座長・講師の先生方、セミナー、機器展示、広告、パネル提供などでご支援いただいた各メーカーの方々、本研究会の準備・運営を支えてくださった全ての方々に厚くお礼申し上げます。

一般社団法人日本腹部放射線研究会 役員名簿

《代表理事》 森 宣 (大分大) 《副代表理事》 後閑 武彦 (昭和大)

《名誉会員》: 6名

黒田 知純 (大阪がん予セ) 中尾 宣夫 (兵庫医大) 中村 仁信 (彩都友誼会) 平松 京一 (水町MR)
平松 慶博 (サン虎の門) 宗近 宏次 (総合南東北病院)

《理事》: 8名

荒木 力 (山梨大) 今井 裕 (東海大) 大友 邦 (東京大) 角谷 眞澄 (信州大)
杉村 和朗 (神戸大) 富樫かおり (京都大) 松井 修 (金沢大) 山下 康行 (熊本大)

《功労会員》: 4名

木戸長一郎 (木戸病院) 隈崎 達夫 (日本医大) 竹川 鉦一 (総合南東北病院) 山田 龍作 (大阪市大)

《監事》: 2名

鳴海 善文 (大阪医大) 南 学 (筑波大)

《評議員》: 90名

【北海道・東北地区】8名

加藤 健一 (岩手医大) 児玉 芳尚 (手稲溪仁会) 齋藤 博哉 (JA旭川厚生) 篠原 敦 (鳴海病院)
渋谷 剛一 (弘前大) 高橋 康二 (旭川医大) 津田 雅視 (仙台立市病院) 橋本 学 (秋田大)

【関東・甲信越地区】30名

赤羽 正章 (東京大) 飯沼 元 (国立がんセ) 衣袋 健司 (三井記念) 磯部 義憲 (東京医療セ)
市川 智章 (山梨大) 岩田 美郎 (池上総合病院) 上野 恵子 (東京女子大) 扇 和之 (日本赤十字)
岡田 吉隆 (埼玉医大国際医療セ) 楯 靖 (獨協医大) 加村 毅 (信楽園病院) 北中 ゆき (町田市民)
桑鶴 良平 (順天堂大) 五味 達哉 (東邦大大橋) 齋田 幸久 (聖路加国際) 陣崎 雅弘 (慶應大)
新本 弘 (防衛医大) 高橋元一郎 (日大総合科学研究所) 竹下 浩二 (帝京大) 田中優美子 (筑波大)
谷 一朗 (横浜栄共済) 谷本 伸弘 (慶應大) 成松 芳明 (市立川崎) 古川 顕 (首都大学東京)
松枝 清 (がん研有明) 松尾 義朋 (イーサイトヘルスケア) 水沼 仁孝 (大田原日赤) 宮川 国久 (聖マリアンナ医大)
八代 直文 (東和病院) 吉田 哲雄 (神奈川県がんセ)

【中部・北陸地区】9名

石口 恒男 (愛知医大) 伊藤 茂樹 (名古屋第一赤十字) 兼松 雅之 (岐阜大) 蒲田 敏文 (金沢大)
小林 聡 (金沢大) 左合 直 (福井赤十字) 竹原 康雄 (浜松医大) 利波 久雄 (金沢医大)
宮山 士朗 (福井済生会)

【近畿地区】19名

磯田 裕義 (京都大) 伊藤 亨 (神戸中央市民) 今岡いずみ (近畿大) 河上 聡 (京都ProMed)
吉川 公彦 (奈良県立医大) 金 東石 (大阪大) 佐藤 守男 (和歌山県医大) 高橋 哲 (神戸大)
鶴崎 正勝 (近畿大) 中村 健治 (大東中央) 平井都始子 (奈良医大) 廣田 省三 (兵庫医大)
廣橋 伸治 (大阪暁明館) 前田 哲雄 (神戸百年記念) 松木 充 (近畿大) 三浦 行矣 (先端医療セ)
村上 卓道 (近畿大) 山崎 道夫 (公立甲賀) 山本 和宏 (大阪医大)

【中国・四国地区】11名

粟井 和夫 (広島大) 伊藤 勝陽 (尾道総合病院) 伊東 克能 (川崎医大) 金澤 右 (岡山大)
児島 完治 (キナシ大林) 上者 郁夫 (岡山大) 中野 寛 (香川大) 濱田 典彦 (高知大)
松崎 健司 (徳島大) 松永 尚文 (山口大) 渡辺 祐司 (倉敷中央)

【九州・沖縄地区】13名

青木 隆敏 (産業医大) 磯本 一郎 (聖フランシスコ病院) 入江 裕之 (佐賀大) 内田 政史 (久留米大)
田村 正三 (宮崎大) 浪本 智弘 (熊本大) 西村 浩 (済生会二日市) 福倉 良彦 (鹿児島大)
福田 俊夫 (長崎市民) 本田 浩 (九州大) 松本 俊郎 (大分大) 村中 光 (九州医療セ)
吉満 研吾 (福岡大)

(112名敬称略・順不同)

《事務局》

森 宣、山田 康成、小川 智子
大分大学医学部臨床医学系放射線医学講座
〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘 1-1
E-mail: jsar@oita-u.ac.jp

一般社団法人設立と正会員としての年会費制について

本会は1990年から「任意団体」として活動して参りましたが、会員数も平成22年には900名を越え、国内外の腹部放射線医学・画像診断学領域において重要な役割を果たしております。

放射線医学の更なる発展の基盤となるよう、平成23年2月7日（月）に名実ともに「一般社団法人日本腹部放射線研究会」として設立登記いたしました。

尚、「一般社団法人」は主に「会費収入」で成り立つ事が条件と定める公正取引委員会での取決めに基づき、平成23年度より正会員としての「年会費制（8,000円）」を導入し、お支払い手続きのご負担軽減の為、全てクレジットカード決済としております。

【正会員の継続について】

正会員としての継続の意思を事前確認の上、平成25年度年会費（8,000円）は本年5月1日付けで自動決済させていただきます。

【新規に正会員としてご登録頂く場合】

本研究会の法人化前（H23年2月7日以前）に会員登録済みの場合は、研究会ホームページの会員登録より「確認・修正」をご選択頂き、登録内容を確認・修正してください。この際には年会費のクレジットカード決済のご入力をお願いいたします。

・年会費納入期間：日本腹部放射線研究会法人年度内（5月1日～翌年4月末日）

但し、研究会開催前の5月1日～31日の間に、当年度の「年会費」を納入して頂いた場合は、同年6月に開催されます学術集会『参加費（8,000円）』は年会費納入の特典として『無料』となります。上記期間内に「年会費」を納入されない場合は、学術集会『参加費（8,000円）』は会場での当日支払いをお願いさせていただきます。

〔年会費納入の特典〕

- 1) 研究会参加費（8,000円）の免除（研究会開催前の5月1日～31日の間に年会費を納入して頂いた場合に限られます）
- 2) 研究会および研究会関連学会の情報提供
- 3) HP上の「デジタルアトラス」閲覧用の専用アカウント配布
- 4) 学術研究助成基金の応募資格を有する

「正会員」となることにより、多くの先生方が日常診療や研究活動及び教育の場において幅広くその特典を活用されることを祈願いたします。

一般社団法人日本腹部放射線研究会
代表理事・事務局代表 森 宣

ご案内

1. 総合受付

- 1) 受付は、4F ホワイエにて、6月21日（金）8：00～、6月22日（土）7：30～開始いたします。
- 2) 参加費は8,000円です。参加費と引き換えに名札（兼出席証明書）をお受け取りください。
 なお、会費制導入に伴い2013年（平成25年）5月1日～5月31日までに年会費をお支払いいただいた方は研究会参加費が無料となりますので、事前登録受付にお越しください。

2. 一般演題

【一般口演】

- ・口演会場は4F 松柏です。
- 1) 座 長
 - ・ご担当いただくセッションの終了時間を厳守してください。一般口演の発表時間はすべて5分、討論時間は各口演につき4分（病理コメントを含む）とします。
 - 2) 発表者

◆「ブレデジタルアトラス」について

発表者全員に研究会ホームページ上で発表内容を「ブレデジタルアトラス」形式で事前入力して頂き、非公開で「打田賞」事前審査に活用させていただきます。また、研究会当日、充実した討論をして頂く為に、病理コメンテーターの先生方による症例内容の事前確認をブレデジタルアトラスにて行いますので、入稿の際には詳細な病理像を掲載出来るよう予めデータのご準備をお願い致します。

◆「デジタルアトラス」、学術誌「臨床放射線」掲載について

研究会終了後に、掲載希望確認の上、「ブレデジタルアトラス」を「デジタルアトラス」として研究会ホームページに掲載致します。また、選考委員より推薦された演題は日本腹部放射線研究会が、学術誌「臨床放射線」への投稿（「ブレデジタルアトラス」＋「英文サマリー」＋「査読」）をサポート致します。（学術誌「臨床放射線」と「デジタルアトラス」のホームページ併載は二重投稿となりません。）

<タイムスケジュール>

H24	11	12	H25	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
演題登録			「プレデジタルアトラス」入稿			◆ 第27回 日本腹部放射線研究会									
						掲載可否最終確認									
						「プレデジタルアトラス」内容修正 (学術誌「臨床放射線」投稿は英文サマリー追加)									
						「臨床放射線」査読(JSAR査読委員)・著者校正			「デジタルアトラス」HP掲載						
									※) 翌年「臨床放射線」掲載						

※)「臨床放射線」掲載予定は金原出版社の最終協議により決定致します。

<執筆要綱（概略）>

①「ブレデジタルアトラス（＝デジタルアトラス）」

Total文字数	
8,500字以内	演題名、演者名、所属 … 8,500字に含む 図、表 … 1点を400字に換算 （例）図10枚を掲載の場合（400×10＝4,000字に換算） →入力Total文字数は実質4,500字以内となる

②「臨床放射線」

選考委員により推薦された演題については、「ブレデジタルアトラス」掲載内容を論文の体裁に整えて頂き、英文サマリー（演題名、演者名、所属含100ワード以内）追加後、査読・校正を通して同学術誌へ投稿して頂く事が出来ます。

◆発表時間

- ・一般口演の発表時間は発表5分・討論時間4分です。時間厳守をお願いいたします。

◆発表形式

- ・PCによる発表ですので、データもしくはご自身のPCをご持参ください。
- ・会場に設置されるプロジェクターは1画面となり、解像度は1024×768ピクセルです。
- ・当日は演者ご自身で演台上に設置されてあるキーボード及びマウスにて操作していただきます。

病理コメンテーターがコメントをする際に、病理写真のスライドを使うことがございますので、最終スライドの後に、発表で使ったものと同じ病理写真のスライドを再掲してください。

発表で提示していない病理写真を入れることはできません。

質疑応答の際に、スライドを戻して説明をすることはご遠慮ください。

◆PC受付

- ・PC受付（4F ホワイエ前）にて、発表の30分前までに試写をお済ませください（混雑が予想されますので、十分時間に余裕を持ってPC受付を行っていただきますようご協力をお願いいたします）。
- ・PC受付での発表データの修正作業はご遠慮ください。
- ・PC本体をお持ち込みの方はデータ確認終了後、発表会場のPCオペレーター席（会場ステージ向かって左側）までご自身でお持ちください。

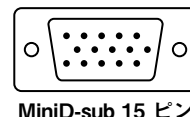
◆発表に関する注意事項

<データをお持ち込みの方>

- ・発表はWindowsのPowerPointとなります。発表データはCD-R、DVD-RまたはUSBフラッシュメモリのメディアにてご持参ください（CD-RW、DVD-RWは不可）。
- ・ご発表用アプリケーションは以下のバージョンをご用意いたします。
Windows PowerPoint：2003、2007、2010
※Macintoshで発表データを作成される方は、ご自身のPCをご持参ください。
- ・フォントはOS標準で装備されているものをご使用ください。画面レイアウトの崩れを防ぐには、下記フォントのご使用をお勧めいたします。
推奨フォント/日本語の場合 MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝
推奨フォント/英語の場合 Century、Century Gothic
上記以外のフォントを使用した場合、文字や段落のずれ、文字化け、文字が表示されない等のトラブルが起こる可能性があります。
- ・動画をご使用の場合は、PowerPointとのリンク状態を保つため、動画ファイルも同じフォルダに保存してください。ファイル形式は、Windows Media Playerで動作するファイル形式でご用意ください（推奨：WMV）。
※AVIはCODECによって再生できない場合があります。
動画をご使用の場合は、ご自身のPCをご持参いただくことをお勧めいたします。
- ・音声は使用できません。
- ・発表者ツールは使用できません。
- ・お預かりした発表データは、学会終了後、事務局にて消去いたします。

<PC本体をご持参される方>

- ・PC本体をお持ち込みの方は、PC受付でのデータ確認終了後、発表会場のPCオペレーター席（会場ステージ向かって左側）までご自身でお持ちください。
- ・PCをお持ち込みの場合は、外部ディスプレイ出力が可能であることを必ずご確認ください。
- ・バッテリー切れを防ぐため電源アダプターをご持参ください。再起動することがありますので起動の際のパスワード設定は必ず解除してください。
- ・出力端子がMiniD-sub 15ピンでないものは、接続アダプターをご持参ください。
- ・画面サイズ（解像度）はXGA（1024×768）となります。
- ・この環境で画面のすべてが不具合なく表示されることを、予めご確認ください。
- ・音声は使用できません。
- ・発表者ツールは使用できません。
- ・スクリーンセーバー、省電力設定については、あらかじめ解除をお願いいたします。



MiniD-sub 15 ピン

◆病理標本

- ・口演は病理学の先生にコメンテーターをお願いしております。病理コメンテーターの先生方よりご要望のあった演題については、事前にプレパレートをご送付いただくか、当日ご持参いただきます。ご郵送をお願いする場合は改めてご連絡させていただきます。なお、お預かりしたプレパレートは、口演終了後に病理受付（6F きすげ1）にてご返却いたしますのでお忘れのないようご注意ください。

【ポスター展示】

- ・ポスター展示会場は6F 龍田です。
- ・ポスター展示については、一般展示、問題提示（クイズ）形式の2種類があります。
各自で発表の形式とパネルサイズを確認の上、作成するようお願いいたします。

1) 座 長

- ・1日目の17:50～18:25にポスターディスカッションを行います。発表2分、質疑2分で進めてください。
ポスターディスカッションの後にも企画がありますので、時間厳守をお願いいたします。

2) 一般展示発表者

- ・ポスターを掲示するパネルのサイズは下記の通りです。
(10ページのポスター作成見本を参考に作成してください)
パネル上：横116cm×縦90cm
パネル下：横116cm×縦90cm
- ・ポスターは、1日目午前11:00までに掲示してください。ポスターを掲示するパネルに演題番号がついていますので、会場に用意されたマジックテープを使用して掲示してください。
- ・1日目の17:50～18:25にポスターディスカッションを行います。発表者はご自身のポスターの前で待機してください。各セッションの座長の進行に従って、発表2分、質疑2分をお願いいたします。
- ・2日目の全プログラム終了後は、直ちにポスターの撤去をお願いいたします。終了後30分経過しても残っているポスターは処分いたしますので、ご了承ください。

3) クイズ展示発表者

- ・ポスターを掲示するパネルのサイズは下記の通りです。
(11ページのポスター作成見本を参考に作成してください)
パネル上（出題）：横116cm×縦90cm
パネル下（解答・解説）：横116cm×縦90cm
- ・出題部分には患者の年齢、性、簡単な主訴や経過、症例の画像のみを提示するように作成してください。図の説明は検査法のみとし、所見の解説はつけないようお願いいたします。矢印や矢頭はつけていただいても構いません。
- ・解答・解説部分には演題名に続いて、画像の説明、最終診断、症例の解説をお願いいたします。出題部分と重複してお示しいただいても構いません。
- ・上記の原稿を指定日までに事務局宛に送付してください。解答・解説部分を隠して掲示いたします。なお、1日目の18:25より解答・解説部分を公開いたします。
- ・展示に関して座長の設定や口演発表は行いませんが、1日目の17:50から18:25まではポスターディスカッションのため、ご自分のポスターの前で待機してください。
- ・2日目の全プログラム終了後は、直ちにポスターの撤去をお願いいたします。終了後30分経過しても残っているポスターは処分いたしますので、ご了承ください。

3.社員総会（世話人会）

日 時：6月21日（金）13:15～13:45
場 所：4F さつき

4.展示クイズ企画

日 時：6月21日（金）11:00～18:25
場 所：6F 龍田

- ・ポスター展示の閲覧時間は1日目11:00～18:35、2日目7:30～17:00です。1日目の18:25までクイズ展示ポスターの解答・解説は隠されています。
 - ・会場には解答用紙を用意しておりますので、解答・解説が発表される前に皆様奮ってご解答ください。
なお、解答・解説は1日目の18:25に公開されますので、それまでに会場に用意された箱に記名のうえご投稿ください。
- ※6月22日（土）12:55～13:05 4F 松柏にてクイズ症例優秀者表彰を行います。上位の方には当番世話人が粗品をご用意しております。皆様ぜひご参加ください。

5.打田賞受賞講演

日 時：6月22日（土）13：05～13：35

6.基調講演

【基調講演1】：バイエル薬品株式会社 共催セミナー

日 時：6月21日（金）11：40～12：10

座 長：鳴海 善文先生（大阪医科大学 放射線医学教室）

演 者：小島 勝先生（獨協医科大学 病理学（形態）

『炎症性偽腫瘍とその周辺疾患』

【基調講演2】：バイエル薬品株式会社 共催セミナー

日 時：6月22日（土）10：50～11：20

座 長：吉満 研吾先生（福岡大学医学部 放射線医学教室）

演 者：菅井 有先生（岩手医科大学 病理学講座 分子診断病理学分野）

『臨床に必要な胆道癌の臨床病理』

7.共催セミナー

【ランチョンセミナー1】：シーメンス・ジャパン株式会社

日 時：6月21日（金）12：20～13：10

座 長：高瀬 圭先生（東北大学大学院医学研究科 内科病態学講座 量子診断学分野 准教授）

演 者：藤永 康成先生（信州大学医学部附属病院 放射線部）

『腹部ダイナミックMRIの新たな潮流～ radial VIBE法の基礎から perfusabilityまで～』

【ランチョンセミナー2】：株式会社フィリップス エレクトロニクス ジャパン

日 時：6月22日（土）11：55～12：45

座 長：南 学先生（筑波大学大学院 人間総合科学研究科（臨床医学系）

疾患制御医学専攻 放射線医学分野 放射線診断・IVRグループ）

演 者：高橋 哲先生（神戸大学医学部附属病院 放射線部）

『前立腺領域のMRI最先端』

【イブニングセミナー】：東芝メディカルシステムズ株式会社

日 時：6月21日（金）16：50～17：40

『320列面検出器CTと3テスラMRIが創り出す最新臨床応用』

座 長：山下 康行先生（熊本大学大学院生命科学研究部 放射線診断学分野）

演 者：森口 理久先生（静岡県立静岡がんセンター 画像診断科）

『320列面検出器CTを用いた画像診断～肝臓領域への応用』

吉川 武先生（神戸大学大学院医学研究科 内科系講座放射線医学分野）

『3テスラ腹部MRIの現状と展望』

【モーニングセミナー】：GEヘルスケア・ジャパン株式会社

日 時：6月22日（土）8：00～8：50

座 長：村上 卓道先生（近畿大学医学部 放射線医学教室 放射線診断学部門）

演 者：吉満 研吾先生（福岡大学医学部 放射線医学教室）

『MRエラストグラフィー - 3Tでの臨床 -』

8. 企業展示

展示協賛プレゼンテーション

日 時：6月22日（土）11：25～11：45

座 長：塩山 靖和先生（獨協医科大学 放射線科）

発表1：エーディア株式会社

発表2：富士フイルムメディカル株式会社

発表3：ピー・エス・ピー株式会社

発表4：ケアストリームヘルス株式会社

企業展示

日 時：6月21日（金）～22日（土）

場 所：6F ホワイエ

エーディア株式会社、富士フイルムメディカル株式会社、ピー・エス・ピー株式会社、ケアストリームヘルス株式会社

9. 情報交換会

日 時：6月21日（金）18：35～

場 所：6F 龍田

軽食をご用意しております（餃子屋台あり）。

10. ワークショップのご案内

日本腹部放射線研究会

第4回 JSAR CT コロノグラフィー・ワークショップ（4thJSAR CTC-WS）

日 時：6月23日（日）9：00～15：30

講義と画像ワークステーションによるハンズオン形式：定員40人

場 所：栃木県総合文化センター 3F 特別会議室

一般展示 ポスターの見本 (A4用紙に印刷してポスターを組んだ場合)

A4用紙を使った場合、上の欄には最大3列×4行、下の欄には最大3列×3行、計21枚のA4用紙を横置きで貼り付けることができます。

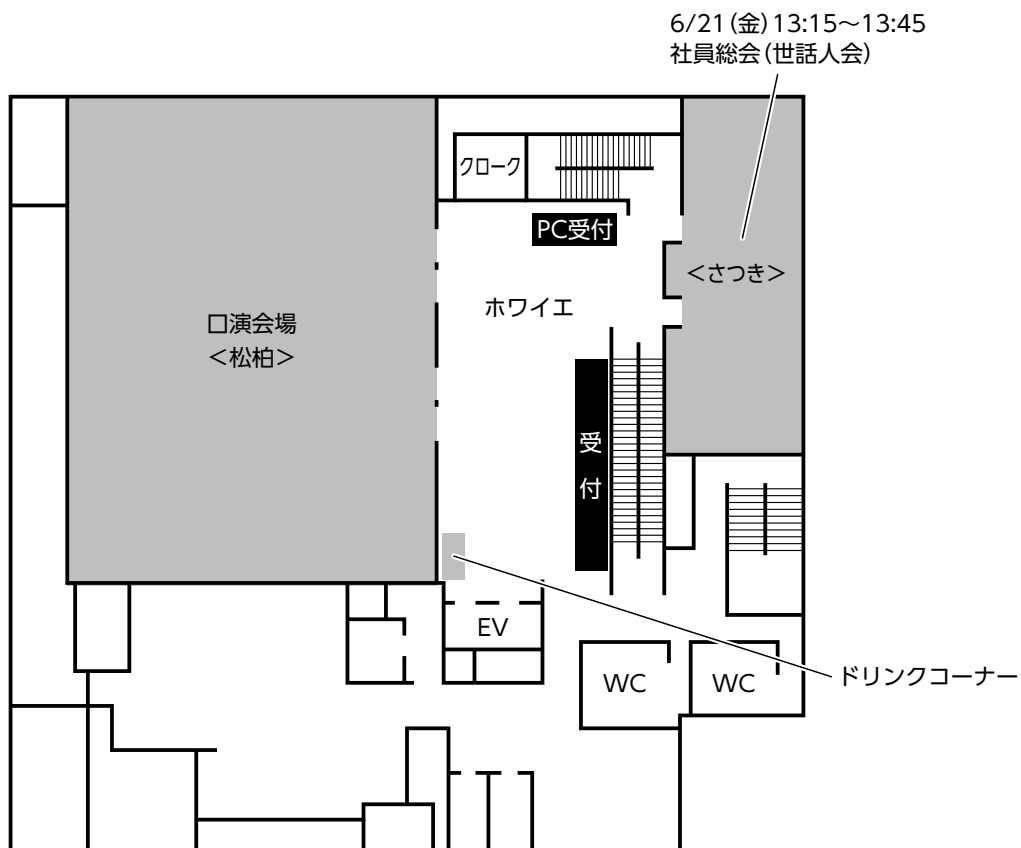
演題番号は事務局で準備します。			使用しません					
塞栓術で治療した Hemosucous Pancreatic の1症例 魚山 佳史, 桐生 茂, 南 学, 桑羽 正孝, 吉岡 直紀, 古賀 久雄, 三辺 慎, 大友 邦 東京大学医学部附属病院放射線科			症例 ・ 68歳男性 ・ 主訴: 下血, 心窩部痛, 嘔吐, 冷汗 ・ 日本酒2合×2年 ・ 8月検診にて貧血指摘(Hb 8g)近医受診, 7月頃下血が一度あり, 8月に気分不快, 悪心, 嘔吐, 下血があり, 低血圧入院, Hb 6g, 吐血, OT, US行っても出血源不明, 11月に血便, さらつきがあったため, 当院受診, Hb 8.8と低下のため緊急入院。			入院後経過 ・ Hb 8.8 g/dL, CRP <0.3 mg/d ・ 正球性貧血 (RBC 227万 / μL, MCV 88.1) ・ amylase 158 IU/L, p-amylase 74 IU/L ・ 胆系上下部内視鏡 - 明らかな出血源なく, 十二指腸のsecond portion へのみ血液付着 ・ OT (一画面) 慢性脾炎指摘, 脾臓部に石灰化 ・ 小腸造影 (異常なし) ・ HSA出血シンチ (異常なし) ・ 輸血(MAP 2L×3回)		
図1. 腹部造影CT (1画面, 遅延相) 			図2. 上腹部dynamic CT (2画面) 			図3. MPVR-MIP 		
図4. 腹腔動脈造影 			図5. 上腹部dynamic CT (2画面) 			図6. 胃十二指腸造影 		
塞栓術後の上腹部動脈造影にて, 後下十二指腸動脈給部近くに小さな仮性動脈瘤の残存を認めたが, 脾炎の合併を要し, 塞栓術は追加しなかった。 			5ヶ月後のERCP 			Hemosucous Pancreatic ・ Sandblom P.(1970)が最初に報告 ・ 脾管からの大量の出血を指す ・ ほとんどものが慢性脾炎に伴うもの ・ 慢性脾臓の脾管内破綻により脾管から出血 ・ その他に外傷性, 溶血性腫瘍の脾梗塞, 造血腫(血所性腫)などによるものも報告されている ・ 報告 65例 (塞栓術による治療例 9例)		
Hemosucous Pancreatic : 診断 ・ 出血は顕微鏡的なため, 脾臓から脾管への出血が描出されるのはまれ。(Shuber, 1990) ・ 内視鏡で主脾管からの出血をもつ診断(Moran, 1983; Jacobs, 1992). ・ 内視鏡で不明なものは血管造影が有用(Shahani, 1994). ・ OTで慢性脾炎, 動脈瘤. ・ 3D-OTangiography も有用 (Malsfeldt, 1997).			Hemosucous Pancreatic : 治療 ・ 手術 ・ 脾部分切除, 脾臓, 動脈の結紮 ・ 塞栓術 ・ 動脈瘤の近位・遠位の塞栓			Hemosucous Pancreatic ・ 慢性脾炎に仮性動脈瘤が合併する頻度は約10% (White, 1978; Hoffer, 1987). ・ 慢性脾炎症例における消化管出血を見た場合には, この疾患を念頭に置いて脾臓に造影する必要がある。		
(Empty box for additional content)			(Empty box for additional content)					
(Empty box for additional content)			(Empty box for additional content)					
この部分は見にくいので, 掲示しないようにしてください。								

クイズポスターの見本 (A4用紙に印刷してポスターを組んだ場合)

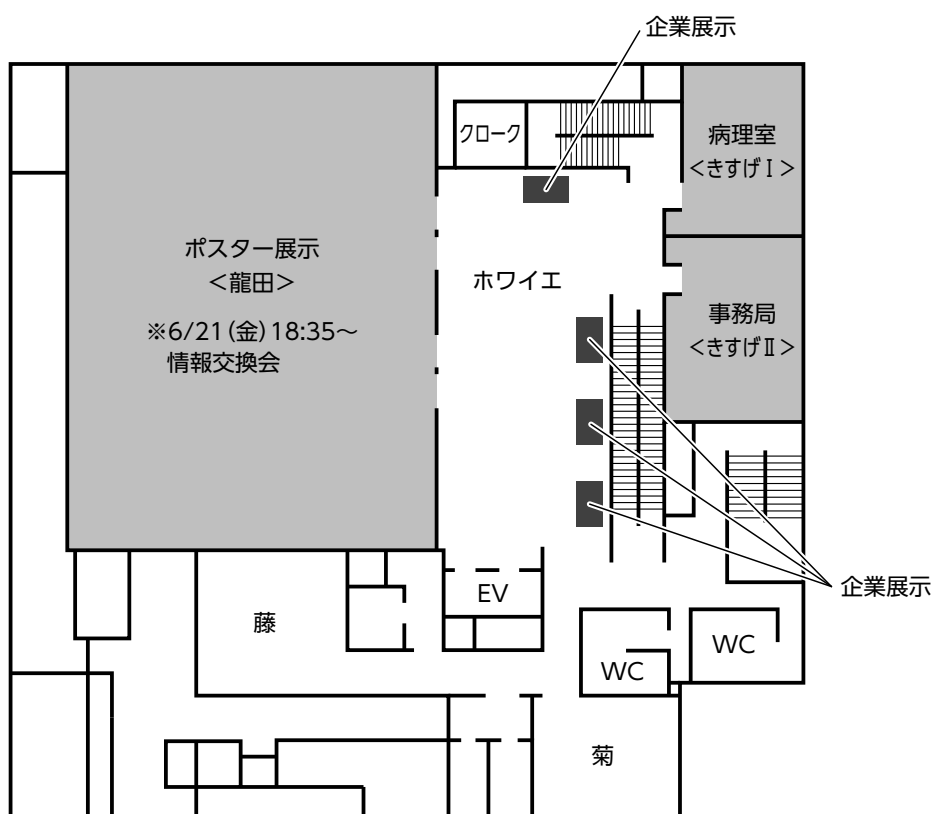
A4用紙を使った場合、上の問題欄には3列×4行、下の解答・解説欄には最大3列×3行、計21枚のA4用紙を横置きで貼り付けることができます。

演題番号は事務局で準備します。		使用しません		図に番号をふっておくと解説の際に便利です (論文のように)	
症例 68歳男性 主訴: 下血、心窩部痛、嘔吐、冷汗 日本酒2合×62年 8月秋診にて貧血指摘(Hb 8.6)近接受診、7月頃下血が一度あり、9月に気分不快、悪心、嘔吐、下血があり、急激に貧血入院、Hb 6.5、輸血、OT、US行っても出血原因不明、11月に出血、ふらつきがあったため、当院受診、Hb 8.8と低下のため緊急入院。		図1 腹部造影CT (1回目、遅延相) 		図2 上腹部dynamic CT (2回目) 脾石硬化に似して胃十二指腸腫瘍(矢印)につながるように腫瘍(矢印)を認める。	
図3 MPVR-MIP 		図4 腹腔動脈造影 		画像所見の解説はここでは伏せて、どういう検査法かのみ示してください (Key pointがわかりにくい場合は矢印などをつけ、その解説は解答・解説欄で述べてください)	
症例の主訴・簡単な経過 (診断名は伏せる)		Key imageは繰り返して提示していただいてもかまいません。		900mm	
この線を境に、問題欄は上部パネルに、解答・解説欄は下部パネルに掲示します。		900mm		60mm	
塞栓術で治療した Hemosuccus Pancreaticus の1症例 倉山 聖志, 柳生 茂, 南 孝, 森岡 正幸, 吉岡 直紀, 古賀 久雄, 渡辺 俊, 大友 邦 東京大学医学部附属病院放射線科		入院後経過 Hb 8.8 l/g/dl, CRP 0.3 mg/dl 正球性貧血 (RBC 227万 l/μl, MCV 88.1) amylase 158 IU/L, p-amylase 74 l IU/L 胃全上下部内視鏡 - 明らかな出血源なく、十二指腸のsecond portion 内のみ血液付着 OT (一回目): 慢性膵炎指摘、脾臓部に石灰化小腫瘍 (異常なし) HSA出血シグナル (異常なし) 輸血 (MAP 2Lx3回)		図2 上腹部dynamic CT (2回目) 	
タイトル・発表者・施設名		最終診断 Hemosuccus Pancreaticus hemo=[Q.ashmg] blood succus=[L.]doe		塞栓術後の上腹部dynamic CTにて、後下十二指腸動脈起始部の近くにも小さな仮性腫瘍の残存を認めたが、脾尖の合併を恐れ、塞栓術は追加しなかった。	
その後の経過など		Hemosuccus Pancreaticus Sandblom P (1970)が最初に報告 脾臓からの大量の出血を指す ほとんどのものが慢性膵炎に伴うもの 仮性腫瘍の脾臓内破裂により脾臓から出血 その他に外傷性、富血性腫瘍の脾臓移、迷走脾 (異所性脾) などによるものも報告されている 報告 65例 (塞栓術による治療 9例)		Hemosuccus Pancreaticus : 診断 出血は間欠的のため、腫瘍から脾臓への出血が抽出されるのはまれ。(Suter, 1986) 内視鏡で主脾管からの出血をもって診断(Morse, 1982; Jacobs, 1992). 内視鏡で不明なものは血管造影が有用 (Shahari, 1994). CTで慢性膵炎、腫瘍。 3D-CTangiography も有用 (Malzfeldt, 1997).	
最終診断		必要な場合はreferenceを加えてください。		900mm	
解説		この部分は見にくいので、掲示しません。		80mm	
1160mm					

4階



6階



プログラム・日程表

第 27 回 日本腹部放射線研究会 日程表

6 月 21 日(金)		6 月 22 日(土)	
8:00		8:00	8:00~8:50 モーニングセミナー
9:00	8:55~9:05 開会の挨拶	9:00	9:00~9:55 胆道・膵臓 (O-36 ~ O-41)
10:00	9:05~9:50 泌尿器 (O-1 ~ O-5)	10:00	9:55~10:40 膵臓 (O-42 ~ O-46)
11:00	9:50~10:35 腎臓 1 (O-6 ~ O-10)	11:00	10:50~11:20 基調講演 2
12:00	10:45~11:40 腎臓 2 (O-11 ~ O-16)	12:00	11:25~11:45 展示協賛プレゼンテーション
13:00	11:40~12:10 基調講演 1	13:00	11:55~12:45 ランチョンセミナー 2
14:00	12:20~13:10 ランチョンセミナー 1	14:00	12:55~13:05 クイズ症例優秀者表彰
15:00	13:15~13:45 [4F さつき] 社員総会	15:00	13:05~13:35 打田賞受賞講演
16:00	13:45~14:40 後腹膜 (O-17 ~ O-22)	16:00	13:35~13:50 JSAR 総会 (事務局連絡)
17:00	14:40~15:45 子宮・卵巣・卵管 (O-23 ~ O-29)	17:00	13:50~14:55 肝臓 1 (O-47 ~ O-53)
18:00	15:55~16:50 腹腔・その他 (O-30 ~ O-35)	18:00	15:05~16:10 肝臓 2 (O-54 ~ O-60)
	16:50~17:40 イブニングセミナー		16:10~17:06 消化器・腸間膜・脾臓 (O-61 ~ O-66)
	17:50~18:25 [6F 龍田] ポスターディスカッション		17:10~ 閉会の挨拶
	18:25~18:35 クイズ症例解答公開 [6F 龍田]	6 月 23 日(日) 日本腹部放射線研究会 第 4 回 JSAR CT コロノグラフィー・ ワークショップ (会場：栃木県総合文化センター 特別会議室)	
	18:35~ 情報交換会 [6F 龍田]		

※記載のないものは、4F 松柏が会場となります。

8:55~9:05 開会の挨拶

9:05~9:50 セッション1 泌尿器 (5題)

座 長 桑鶴 良平 (順天堂大学 医学部放射線医学教室放射線診断学講座)
コメンテーター 長嶋 洋治 (横浜市立大学大学院医学研究科 分子病理学部門)

O-1 膀胱内反性乳頭腫の5例のMRI所見

竹内 充¹、上嶋 佑樹¹、鈴木 智博¹、原 眞咲²、芝本 雄太¹
名古屋市立大学大学院医学研究科 放射線医学教室¹、
名古屋市立大学大学院医学研究科 共同研究教育センター中央放射線部²

O-2 特徴的な画像所見を呈した膀胱の炎症性筋線維芽細胞性腫瘍の1例

瀧口 紗世、松島 理士、北井 里実、川上 剛、関谷 透、福田 国彦
東京慈恵会医科大学 放射線医学講座

O-3 腫瘍を形成した増殖性膀胱炎の1例

原 由紀子¹、中園 貴彦¹、笹栗 弘平¹、蒲地 紀之¹、入江 裕之¹、有働 和馬²、
徳田 雄治²、増田 正憲³
佐賀大学医学部 放射線科¹、佐賀大学医学部 泌尿器科²、佐賀大学医学部 病因病態科学³

O-4 成人陰茎黄色肉芽腫の1例

田村 全¹、白神 伸之²、磯貝 豪¹、増田真木子¹、樋口 睦¹、栗林 幸夫³
国家公務員共済組合連合会 立川病院 放射線診断科¹、東邦大学医療センター大森病院 放射線科²、
慶應義塾大学病院 放射線診断科³

O-5 前立腺肉腫の2例

加藤 勝也¹、新家 崇義¹、井田健太郎¹、郷原 英夫¹、小河 七子¹、槇本 玲子¹、
富田 晃司¹、江原 伸²、柳井 広之³、金澤 右¹
岡山大学病院 放射線科¹、岡山大学病院 泌尿器科²、岡山大学病院 病理³

座 長 丸上 永晃 (奈良県立医科大学 中央内視鏡・超音波部)
コメンテーター 長嶋 洋治 (横浜市立大学大学院医学研究科 分子病理学部門)

O-6 出血および嚢胞変性を伴う傍糸球体細胞腫 (reninoma) の1例

福田 大記、松島 理士、清水 哲也、瀧口 紗世、五十嵐隆朗、北井 里実、
川上 剛、関谷 透、福田 国彦
東京慈恵会医科大学 放射線医学講座

O-7 腎盂内に突出する発育形態を呈したMESTの1例

谷尾 宣子¹、加茂 実武¹、植田 琢也¹、齋田 幸久¹、松尾 義朋²、服部 一紀³、
村石 修³、鈴木 高祐⁴
聖路加国際病院 放射線科¹、イーサイトヘルスケア 放射線科²、聖路加国際病院 泌尿器科³、
聖路加国際病院 病理科⁴

O-8 腎静脈内血管腫の2例

上野 嘉子¹、北島 一宏¹、末永 裕子¹、神澤 真紀²、原 重雄²、伊藤 智雄²、
三宅 秀明³、藤澤 正人³、高橋 哲¹、杉村 和朗¹
神戸大学大学院医学研究科 内科系講座放射線医学分野¹、
神戸大学大学院医学研究科 病理学講座病理診断学分野²、
神戸大学大学院医学研究科 外科系講座腎泌尿器科学分野³

O-9 生検で診断できた膀胱癌BCG療法後の腎肉芽腫性病変の2例

成田 啓一¹、陣崎 雅弘¹、菊地 栄次²、秋田 大字¹、三上 修司³、杉浦 弘明¹、
奥田 茂男¹、萩原 正幸²、弓削 和之²、谷本 伸弘¹、栗林 幸夫¹
慶應義塾大学医学部 放射線科学教室¹、慶應義塾大学医学部 泌尿器科²、
慶應義塾大学医学部 病理診断科³

O-10 BCG膀胱内注入療法後に発生した腎結核性肉芽腫の2例

堀内 沙矢¹、加茂 実武¹、植田 琢也¹、齋田 幸久¹、遠藤 文康²、鳶巢 賢一²、
村石 修²、鈴木 高祐³
聖路加国際病院 放射線科¹、聖路加国際病院 泌尿器科²、聖路加国際病院 病理診断科³

10:45~11:40 セッション3 腎臓2 (6題)

座 長 陣崎 雅弘 (慶應義塾大学 医学部放射線診断科)
コメンテーター 長嶋 洋治 (横浜市立大学大学院医学研究科 分子病理学部門)

O-11 ALK陽性腎癌の1例

海野 俊之^{1,2}、松枝 清¹、河野 敦¹、米瀬 淳二³、井下 尚子⁴、竹内 賢吾⁴、
石川 雄一⁴

がん研究会有明病院 画像診断部¹、日本大学医学部附属板橋病院 放射線科²、
がん研究会有明病院 泌尿器科³、がん研究会有明病院 病理部⁴

O-12 Birt-Hogg-Dube症候群と透析関連腎癌を合併した1例

上嶋 佑樹¹、竹内 充¹、山本 貴浩¹、河合 辰哉¹、鈴木 智博¹、芝本 雄太¹、
原 真咲²

名古屋市立大学大学院医学研究科 放射線医学教室¹、名古屋市立大学病院 中央放射線部²

O-13 Birt-Hogg-Dube症候群に見られた多発腎腫瘍の1例

北島 一宏¹、高橋 哲¹、上野 嘉子¹、末永 裕子¹、杉村 和朗¹、藤澤 正人²、
川上 史³

神戸大学 放射線科¹、神戸大学 泌尿器科²、神戸大学 病理部³

O-14 腎カルチノイドの1例

中本 篤¹、金 東石¹、堀 雅敏¹、大西 裕満¹、坂根 誠¹、高山 仁志²、
吉田 研一³、森井 英一³、富山 憲幸¹

大阪大学大学院 医学系研究科 放射線医学講座¹、大阪大学大学院 医学系研究科 泌尿器科学講座²、
大阪大学大学院 医学系研究科 病理病態学講座³

O-15 高齢者の腎盂内に発育したWilms腫瘍の1例

田代 彩子¹、丸上 永晃²、高濱 潤子¹、丸上 亜希¹、吉川 公彦¹、島田 啓司³、
穴井 智⁴

奈良県立医科大学 放射線科¹、奈良県立医科大学 中央内視鏡・超音波部²、
奈良県立医科大学 病理病態学³、奈良県立医科大学 泌尿器科⁴

O-16 腎盂平滑筋肉腫の1例

岡村 哲平¹、曾我 茂義¹、川内 利夫¹、新本 弘¹、加地 辰美¹、新地 祐介²、
伊藤 敬一²、浅野 友彦²、島崎 英幸³

防衛医科大学校 放射線科¹、防衛医科大学校病院 泌尿器科²、防衛医科大学校病院 検査部³

11:40~12:10 基調講演1：バイエル薬品株式会社 共催セミナー

座 長 鳴海 善文 (大阪医科大学 放射線医学教室)
演 者 小島 勝 (獨協医科大学 病理学 (形態))

『炎症性偽腫瘍とその周辺疾患』

12:20~13:10 ランチョンセミナー1:シーメンス・ジャパン株式会社

座長 高瀬 圭 (東北大学大学院医学研究科 内科病態学講座 量子診断学分野)
演者 藤永 康成 (信州大学医学部附属病院 放射線部)

『腹部ダイナミックMRIの新たな潮流
～ radial VIBE法の基礎からperfusabilityまで～』

13:15~13:45 社員総会

13:45~14:40 セッション4 後腹膜(6題)

座長 赤羽 正章 (東京大学医学部附属病院 放射線部)
コメンテーター 安田 政実 (埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科)

O-17 出血をきたし、診断に苦慮した後腹膜悪性リンパ腫の1例

末永 裕子^{1,2}、北島 一宏²、上野 嘉子²、高橋 哲²、杉村 和朗²、石村 武志³、
藤澤 正人³、川上 史⁴、伊藤 智雄⁴

神戸大学大学院医学研究科 内科系講座放射線医学分野¹、神戸大学医学部 放射線科²、
神戸大学医学部 泌尿器科³、神戸大学医学部 病理診断科⁴

O-18 CTで増大の過程を観察できた後腹膜原発の骨外性骨肉腫の1例

松坂 陽至¹、小原 玲²、下川 怜子³、井上 征雄¹、山根 隆¹、佐藤 通洋¹、
中島 洋介²

済生会横浜市東部病院 放射線診断科¹、済生会横浜市東部病院 泌尿器科²、
済生会横浜市東部病院 病理科³

O-19 後腹膜原発のlipomatous hemangiopericytomaの1例

朝戸 信行、鶴崎 正勝、日高正二郎、松久保祐子、兵頭 朋子、柳生 行伸、
岡田 真広、今岡いずみ、松木 充、足利竜一郎、石井 一成、村上 卓道
近畿大学医学部 放射線診断学教室

O-20 右腎原発腫瘍と鑑別が困難であった右後腹膜ganglioneuromaの1例

坂本 綾美¹、林 秀行¹、坂本 一郎¹、西田 暁史¹、島本 綾¹、上谷 雅孝¹、
木原 敏晴²、杠葉 美樹²、竹原 浩介²、大仁田 亨²、井川 掌²、酒井 英樹²、
岡田 雅彦³、林 徳真吉⁴

長崎大学病院 放射線科¹、長崎大学病院 泌尿器科²、長崎大学病院 小児科³、
長崎大学病院 病理部⁴

O-21 後腹膜平滑筋腫の1例

宝関 明子、北井 里実、尾上 薫、五十嵐隆朗、松島 理士、川上 剛、
関谷 透、福田 国彦、高倉 聡、廣岡 信一

東京慈恵会医科大学 放射線医学講座

O-22 両側巨大副腎myelolipomaの1例

富田 晃司¹、郷原 英夫¹、兒島 聡一¹、加藤 勝也¹、金澤 右¹、和田耕一郎²、
高村 剛輔²、杉本 盛人²、江原 伸²、荒木 元朗²、八木 孝仁³、柳井 広之⁴
岡山大学病院 放射線科¹、岡山大学病院 泌尿器科²、岡山大学病院 肝胆膵外科³、
岡山大学病院 病理診断科⁴

14:40~15:45

セッション5 子宮・卵巣・卵管 (7題)

座 長 田中優美子 (筑波大学 医学医療系放射線医学)
コメンテーター 安田 政実 (埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科)

O-23 子宮脂肪平滑筋肉腫の1例

井上 快児¹、小澤 栄人²、岡田 吉隆²、藤原 恵一³、安田 正実⁴、目黒 史織⁴、
田中 淳司¹、木村 文子²
埼玉医科大学病院 放射線科¹、埼玉医科大学国際医療センター 画像診断科²、
埼玉医科大学国際医療センター 婦人科腫瘍科³、埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科⁴

O-24 子宮体癌と頸癌の衝突癌と診断された1例

伊藤 茂樹¹、中道 玲瑛¹、河合 雄一¹、水野 公雄²、新保 暁子²、江中 牧子³、
藤野 雅彦³
名古屋第一赤十字病院 放射線診断科¹、名古屋第一赤十字病院 産婦人科²、
名古屋第一赤十字病院 病理部³

O-25 両側卵巣の粘液性腺癌を伴った子宮頸部最小偏倚型腺癌の1例

三森 天人¹、富田 晃司¹、矢吹 隆行¹、武本 充宏¹、松原伸一郎¹、佐野 友美²、
水谷 靖司²、赤松 信雄²、藤澤 真義³、上者 郁夫⁴、金澤 右⁵
姫路赤十字病院 放射線科¹、姫路赤十字病院 産婦人科²、姫路赤十字病院 病理³、
岡山大学医学部 保健学科⁴、岡山大学医学部 放射線科⁵

O-26 子宮のflorid cystic endosalpingiosisの1例

井上 千恵¹、藤井 進也¹、福永 健¹、杉浦 公彦¹、神納 敏夫¹、野坂 加苗²、
堀江 靖²、小川 敏英¹
鳥取大学医学部 病態解析医学講座医用放射線学分野¹、鳥取大学医学部 病理部²

O-27 奇胎合併妊娠と間葉性異形成胎盤とのMRIによる鑑別

樋本 祐紀¹、木戸 晶¹、南口早智子²、奥村 亮介³、森畠 裕策¹、木口 佳代¹、
舌野 富貴¹、藤本 晃司¹、近藤 英治⁴、永野 忠義⁵、光野 重根³、小西 郁生⁴、
富樫かおり¹
京都大学医学部附属病院 放射線診断科¹、京都大学医学部附属病院 病理診断科²、
北野病院 放射線科³、京都大学医学部附属病院 産婦人科⁴、北野病院 産婦人科⁵

O-28 卵管から発生したpolypoid endometriosisの1例

舌野 富貴¹、木戸 晶¹、藤本 晃司¹、梅岡 成章¹、樋本 祐紀¹、木口 佳代¹、
家村阿紗子²、馬場 長²、南口早智子³、三上 芳喜³、小西 郁生²、富樫かおり¹
京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座（画像診断学・核医学）¹、
京都大学大学院医学研究科 器官外科学講座（婦人科学産科学）²、
京都大学医学部附属病院 病理診断科³

O-29 非妊娠女性に生じた脱落膜化を伴う内膜症性嚢胞の1例

藤井 進也、福永 健、井上 千恵、杉浦 公彦、神納 敏夫、小川 敏英
鳥取大学医学部 放射線科

15:55～16:50 セッション6 腹腔・その他（6題）

座 長 水沼 仁孝（那須赤十字病院 放射線科）
コメンテーター 小島 勝（獨協医科大学 病理（形態））

O-30 Desmoplastic small round cell tumorの1例

山内 哲司¹、里上 直衛¹、佐藤 文恵¹、野橋 智美¹、森澤 信子¹、谷掛 雅人¹、
藤本 良太¹、早川 克己¹、里 輝幸²、河野 文彦³
京都市立病院 放射線診断科¹、京都市立病院 総合外科²、京都市立病院 病理診断科³

O-31 腹腔内inflammatory myofibroblastic tumorの1例

坂根 誠、金 東石、堀 雅敏、大西 裕満、中本 篤、巽 光明、
富山 憲幸
大阪大学 医学系研究科 放射線医学講座

O-32 腹膜に多発結節を伴い播種性病変と類似する所見を呈した骨盤放線菌症の1例

土田 千賀¹、岩崎 俊子¹、折坂 早苗²、竹内 譲²、河原 栄³
福井総合病院 放射線科¹、福井総合病院 産婦人科²、金沢大学 病態検査学³

O-33 腔壁発生の消化管間質腫瘍（GIST）の1例

柘植 大輔¹、桑鶴 良平¹、會田 真理¹、道正 理恵¹、井上 達朗¹、堀田 昭博¹、
鈴木 一廣¹、白石 昭彦¹、金田 容秀²、荒川 敦³
順天堂医院 放射線医学講座¹、順天堂医院 産婦人科²、順天堂医院 人体病理病態学講座³

O-34 直腸腔中隔に発生したEwing肉腫/PNETの1例

井上 明星¹、大田 信一¹、岬 沙耶香¹、友澤 裕樹¹、渡辺 尚武¹、北原 均¹、
高橋 雅士¹、村田喜代史¹、所 伸介²、天野 創²、木村 文則²、石田 光明³
滋賀医科大学 放射線科¹、滋賀医科大学 産婦人科²、滋賀医科大学 病理学講座³

O-35 仙骨前epidermoid cystから発生した扁平上皮癌の1例

梶原 誠¹、菅原 敬文¹、細川 浩平¹、清水 輝彦¹、高橋 忠章¹、酒井 伸也¹、
小島 誉也²、高畑 浩之³
独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター 放射線診断科¹、
独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター 消化器外科²、
独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター 病理科³

口演 6月21日(金)

16:50～17:40 イブニングセミナー：東芝メディカルシステムズ株式会社

「320列面検出器CTと3テスラMRIが創り出す最新臨床応用」

座 長 山下 康行（熊本大学大学院生命科学研究部 放射線診断学分野）

演 者 森口 理久（静岡県立静岡がんセンター 画像診断科）

『320列面検出器CTを用いた画像診断～肝臓領域への応用』

演 者 吉川 武（神戸大学大学院医学研究科 内科系講座放射線医学分野）

『3テスラ腹部MRIの現状と展望』

17:50～18:25 ポスターディスカッション（6F ポスター展示会場（龍田））

18:25～18:35 クイズ症例解答公開（6F ポスター展示会場（龍田））

18:35～ 情報交換会（6F 龍田）

8:00~8:50 モーニングセミナー：GEヘルスケア・ジャパン株式会社

座長 村上 卓道 (近畿大学医学部 放射線医学教室 放射線診断学部門)

演者 吉満 研吾 (福岡大学医学部 放射線医学教室)

『MRエラストグラフィー - 3Tでの臨床 -』

9:00~9:55 セッション7 胆道・膵臓 (6題)

座長 竹原 康雄 (浜松医科大学医学部附属病院 放射線部)

コメンテーター 井村 穰二 (富山大学大学院医学薬学研究部 病理診断学講座)

O-36 膵・胆管合流異常を伴う先天性胆道拡張症に発生したG-CSF産生下部胆管癌の1例

正田 哲也¹、丸上 永晃²、平井都始子²、高濱 潤子¹、吉川 公彦¹、庄 将之³、榎本 泰典⁴

奈良県立医科大学 放射線科¹、奈良県立医科大学 中央内視鏡・超音波部²、

奈良県立医科大学 消化器外科³、奈良県立医科大学 病理診断学⁴

O-37 膵腫瘍性病変と鑑別が困難であった腫瘤状末梢膵管増生の1例

上原 朋子¹、中川 裕之¹、中谷 充宏²、高 濟峯²、田村 智美³、関川 進³、高濱 潤子⁴、丸上 永晃⁴、吉川 公彦⁴、堤 雅弘⁵

奈良県立奈良病院 放射線科¹、奈良県立奈良病院 外科²、奈良県立奈良病院 病理³、

奈良県立医科大学 放射線科⁴、済生会中和病院 臨床病理科⁵

O-38 膵に発生したlocalized lymphoid hyperplasiaの2例

笹森 寛人¹、扇谷 芳光¹、宗近 次朗¹、石塚久美子¹、西城 誠¹、須山 淳平¹、崔 翔榮¹、高井 結¹、廣瀬 正典¹、後閑 武彦¹、佐藤 悦基²、岩田 朋之²、池上 覚俊³、北村 勝哉²、吉田 仁²、藤森 聡⁴、青木 武士⁴、村上 雅彦⁴、大池 信之⁵、諸星 利男⁵

昭和大学医学部 放射線医学教室¹、昭和大学医学部 消化器内科学部門²、三宿病院 消化器科³、

昭和大学医学部 消化器・一般外科学教室⁴、昭和大学医学部 病理学講座病理学部門⁵

O-39 急性腹症を呈した膵mucinous cystic neoplasmの1例

中井 浩嗣¹、小林 久人¹、井上 恵太¹、染矢 祐子¹、中本 隆介¹、今峰 倫平¹、亀山 恭子²

大津赤十字病院 放射線科¹、京都医療センター 放射線科²

O-40 嚢胞変性をきたした膵管内管状乳頭腫瘍の1例

佐藤 滋高¹、大田 信一¹、若宮 誠²、宮川 善浩²、村上耕一郎³、石田 光明⁴、岬 沙耶香¹、白波瀬 歩¹、青木 健¹、友澤 裕樹¹、渡辺 尚武¹、村上 陽子¹、大谷 秀司¹、永谷 幸裕¹、河野 直明¹、新田 哲久¹、高橋 雅士¹、村田喜代史¹

滋賀医科大学 放射線科¹、市長長浜病院 放射線科²、滋賀医科大学 外科学講座³、

滋賀医科大学 臨床検査医学講座⁴

O-41 成人脾芽腫の1例

高司 亮¹、山田 康成¹、松本 俊郎¹、清永 麻紀¹、森 宣¹、太田 正之²、
北野 正剛²、泥谷 直樹³、守山 正胤³

大分大学医学部 放射線医学講座¹、大分大学医学部 総合外科学第1講座²、
大分大学医学部 分子病理学講座³

9:55~10:40 セッション8 脾臓 (5題)

座 長 藤永 康成 (信州大学医学部附属病院 放射線部)

コメンテーター 井村 穰二 (富山大学大学院医学薬学研究部 病理診断学講座)

O-42 主脾管拡張を伴いながら脾全体に発育した脾癌の2例

有蘭 茂樹¹、尾谷 知亮¹、倉田 靖桐¹、日野田卓也¹、上田 浩之¹、日野 恵¹、
伊藤 亨¹、高島 健司²、岡田 和幸³、八木真太郎³、細谷 亮³、山下 大祐⁴、
今井 幸弘⁴

神戸市立医療センター中央市民病院 放射線診断科¹、
神戸市立医療センター中央市民病院 消化器内科²、神戸市立医療センター中央市民病院 外科³、
神戸市立医療センター中央市民病院 臨床病理科⁴

O-43 門脈腫瘍栓を伴った脾腺房細胞癌の1例

大石 哲司¹、上野 彰久¹、陣崎 雅弘¹、奥田 茂男¹、谷本 伸弘¹、栗林 幸夫¹、
江本 桂²、真杉 洋平²、坂元 享宇²、阿部 雄太³、北郷 実³、板野 理³、
田邊 稔³、北川 雄光³

慶應義塾大学 放射線診断科¹、慶應義塾大学 病理学教室²、慶應義塾大学 一般・消化器外科³

O-44 出血を伴う嚢胞状病変を呈し、術前診断が困難であった脾腺房細胞癌の1例

森 菜緒子、高澤 千晶、松浦 智徳、大田 英揮、常陸 真、富永 循哉、
清治 和将、田村 亮、高瀬 圭、高橋 昭喜

東北大学 放射線診断科

O-45 皮下結節性脂肪壊死症を契機に診断された巨大肝転移を伴う脾腺房細胞癌の1例

小坂 一斗¹、蒲田 敏文¹、小林 聡¹、香田 渉¹、南 哲弥¹、北尾 梓¹、
吉田耕太郎¹、永井 圭一¹、平野 貴士²、水越英四郎³、池田 博子⁴

金沢大学 放射線科¹、金沢大学 皮膚科²、金沢大学 消化器内科³、金沢大学 病理科⁴

O-46 十二指腸の腺房細胞癌の1例

佐野 勝廣¹、本杉宇太郎¹、森阪 裕之¹、市川新太郎¹、市川 智章¹、横田 雄大²、
榎本 信幸²、中澤 匡男³、荒木 力¹

山梨大学医学部 放射線医学教室¹、山梨大学医学部 第一内科²、山梨大学医学部 人体病理学³

10:50~11:20 基調講演2: バイエル薬品株式会社 共催セミナー

座長 吉満 研吾 (福岡大学医学部 放射線医学教室)

演者 菅井 有 (岩手医科大学 病理学講座 分子診断病理学分野)

『臨床に必要な胆道癌の臨床病理』

11:25~11:45 展示協賛プレゼンテーション

座長 塩山 靖和 (獨協医科大学 放射線科)

発表1: エーディア株式会社

発表2: 富士フイルムメディカル株式会社

発表3: ピー・エス・ピー株式会社

発表4: ケアストリームヘルス株式会社

11:55~12:45 ランチョンセミナー2: 株式会社フィリップス エレクトロニクス ジャパン

座長 南 学 (筑波大学大学院 人間総合科学研究科 (臨床医学系)

疾患制御医学専攻 放射線医学分野 放射線診断・IVRグループ)

演者 高橋 哲 (神戸大学医学部附属病院放射線部)

『前立腺領域のMRI最先端』

12:55~13:05 クイズ症例優秀者表彰

13:05~13:35 打田賞受賞講演

表彰 松井 修、楳 靖
司会 森 宣

口演部門 (泌尿生殖器系)

腎粘液管状紡錘細胞癌の1例

大阪大学大学院医学系研究科 放射線医学講座 坪山 尚寛

口演部門 (消化器系)

原発性胆汁性肝硬変におけるGd-EOB-DTPAによる門脈周囲の造影効果

東北大学 放射線診断科 森 菜緒子

展示部門 (泌尿生殖器系)

腎のMTSCCの1例

聖路加国際病院 放射線科 加茂 実武

展示部門 (消化器系)

稀な鼠径部のヘルニアの2例: 鼠径ヘルニア偽還納とLaugierヘルニア

筑波大学附属病院 放射線診断科・IVR科 星合 壮大

13:35~13:50 JSAR総会 (事務局連絡)

13:50~14:55 セッション9 肝臓1 (7題)

座 長 松枝 清 (がん研究会有明病院 画像診断部)
コメンテーター 富田 茂樹 (獨協医科大学 病理学 (人体・分子))

O-47 EB virus-associated leiomyomaの1例

野田 佳史、五島 聡、青松 昭徳、川田 紘資、櫻井 幸太、近藤 浩史、
兼松 雅之
岐阜大学医学部附属病院 放射線科

O-48 リンパ上皮腫様癌に類似した肝内胆管癌の1例

江戸 博美¹、新本 弘¹、渡邊 定弘¹、中森 貴俊¹、山田謙太郎¹、田村 千春¹、
岡村 哲平¹、山本 真由¹、川内 利夫¹、曾我 茂義¹、林 克己¹、喜多 保¹、
小須田 茂¹、加地 辰美¹、青笹 季文²、初瀬 一夫²、山本 順司²、緒方 衝³、
河合 俊明³
防衛医科大学校病院 放射線科¹、防衛医科大学校病院 外科²、防衛医科大学校病院 臨床検査医学³

O-49 稀な肝原発未分化肉腫の1例

小岩原 元¹、津田 孝治¹、武智 恵¹、田中 宏明¹、望月 輝一¹、田村 圭²、
高井 昭洋²、藤山 泰二²、高田 泰次²、水野 洋輔³、杉田 敦郎³、北澤 莊平³
愛媛大学医学部附属病院 放射線科¹、愛媛大学医学部附属病院 肝胆膵・移植外科学²、
愛媛大学医学部附属病院 分子病理学³

O-50 微小な膵原発巣から著明な肝転移を呈した神経内分泌癌の1例

立澤 夏紀¹、熊野 玲子¹、武藤 絢子¹、山田 隆之¹、相田 芳夫²、鈴木 碧³、
石井 俊哉³、荒武 良総⁴、池田 裕隆¹、丸山 泰貴¹、佐藤 明³
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 放射線科¹、
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 病院病理部²、
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 消化器内科³、
国立病院機構九州がんセンター 消化器・肝胆膵内科⁴

O-51 出血性嚢胞の長期経過中、急速に増大する低分化肝細胞癌が合併した若年女性の1例

竹内 香代¹、大野亜矢子¹、山田 篤史¹、豊岡麻理子¹、高橋 孝博¹、左合 直¹、
松永 心祐²、土居 幸司³、太田 諒⁴
福井赤十字病院 放射線科¹、福井赤十字病院 消化器内科²、福井赤十字病院 外科³、
福井赤十字病院 病理部⁴

O-52 EOB造影肝細胞相等～高信号を呈する肝細胞癌が門脈内腫瘍栓・肝内転移を来した1例

高橋 正明、山田 哲、藤田 顕、黒住 昌弘、藤永 康成、上田 和彦、
角谷 眞澄
信州大学医学部 画像医学講座

O-53 Split-dynamic法をEOB-MRIに導入することの意義について

那須 克宏、橋本美智子、森 健作、南 学
筑波大学大学院医学分野放射線医学 放射線診断・IVR

15:05~16:10 セッション10 肝臓2 (7題)

座 長 津田 雅視 (仙台市立病院 放射線科)
コメンテーター 富田 茂樹 (獨協医科大学 病理学 (人体・分子))

O-54 巨大肝血管腫の1例

中村 優子¹、海地 陽子¹、本田有紀子¹、古本 大典¹、立神 史稔¹、柿沢 秀明¹、
伊達 秀二¹、粟井 和夫¹、小林 剛²、田代 裕尊²、大段 秀樹²、有廣 光司³
広島大学 放射線診断学¹、広島大学 外科学²、広島大学病院 病理診断科³

O-55 巨大肝血管筋脂肪腫 (PEComa) の1例

大野 裕美¹、五島 聡¹、近藤 浩史¹、兼松 雅之¹、渡邊 春夫²、佐々木義之³、
廣瀬 善信⁴
岐阜大学医学部 放射線科¹、岐阜中央病院 放射線科²、岐阜大学医学部 腫瘍外科³、
岐阜大学医学部 病理部⁴

O-56 術前診断困難なSegmental atrophy of the liverの1例

安武 毅¹、三瀬 葉子¹、五ノ井 渉¹、住田 薫¹、赤羽 正章¹、大友 邦¹、
柴原 純二²、青木 琢³、國土 典宏³
東京大学医学部 放射線医学教室¹、東京大学医学部 病理学教室²、
東京大学医学部 肝胆膵外科、人工臓器・移植外科³

O-57 好酸球増多症候群による肝障害の1例

中道 玲瑛¹、伊藤 茂樹¹、河合 雄一¹、山口 文夫²、藤野 雅彦³
名古屋第一赤十字病院 放射線診断科¹、名古屋第一赤十字病院 消化器内科²、
名古屋第一赤十字病院 病理部³

O-58 肝アミロイドーシスの1例

高村 朋宏¹、市川新太郎¹、本杉宇太郎¹、佐野 勝廣¹、森阪 裕之¹、市川 智章¹、
荒木 力¹、加藤 亮²、進藤 邦明²、坂本 穰²、榎本 信幸²
山梨大学医学部 放射線科¹、山梨大学医学部 第一内科²

O-59 肝全体に網目状構造を呈した肝サルコイドーシスの1例

井手 里美¹、岡原 美香¹、上田 真也¹、秋月真一郎²、香川 浩一³、山田 康成⁴、
松本 俊郎⁴、森 宣⁴
新別府病院 放射線科¹、新別府病院 病理²、新別府病院 消化器内科³、
大分大学医学部附属病院 放射線科⁴

O-60 EOB-MR imagingで興味深い所見を示した肝サルコイドーシスの1例

田村 亮、高瀬 圭、森 菜緒子、高橋 昭喜
東北大学 放射線診断科

16:10~17:06 セッション11 消化管・腸間膜・脾臓 (6題)

座 長 佐藤 秀一 (横浜旭中央総合病院 放射線科)
コメンテーター 菅井 有 (岩手医科大学病理学講座 分子診断病理学)

O-61 大腸内視鏡手術中に皮下気腫にて発症した腹腔内遊離ガスを伴う腸間膜気腫症の1例

金成 芳美¹、岩田 美郎¹、西 隆之²、島田 英雄²、明神 和紀³
東海大学大磯病院 放射線科¹、東海大学大磯病院 一般外科²、東海大学付属病院 画像診断科³

O-62 Sister Mary Joseph's noduleで発見された進行胃癌の1例

原口 貴史¹、植田 琢也¹、衛藤 光²、中田 敏明²、中村 仁美²、齋田 幸久¹
聖路加国際病院 放射線科¹、聖路加国際病院 皮膚科²

O-63 CT検査で発見された腎細胞癌胃転移の1例

濱田 典彦¹、並川 努²、弘井 誠³、仰木 健太¹、青山 信隆¹、片岡 優子¹、
宮武 加苗¹、田所 導子¹、田村 泰治¹、山西 伴明¹、大西 剛直¹、野上 宗伸¹、
刈谷 真爾¹、久保田 敬¹、西岡 明人¹、小川 恭弘¹
高知大学医学部 放射線医学講座¹、高知大学医学部 外科²、高知大学医学部 病理診断部³

O-64 好酸球増多症候群の経過中に発見された大腸病変の1例

笹井 信也¹、加地 充昌¹、金澤 右²
岡山画像診断センター 画像診断部¹、岡山大学 放射線科²

O-65 多血性肝転移を来した混合型腺神経内分泌癌の1例

完山依里子、福田 国彦、関谷 透、五十嵐隆朗、松島 理士、川上 剛、
北井 里実
東京慈恵会医科大学 放射線診断学講座

O-66 脾自然破裂をきたした1例

清水 辰哉、市川新太郎、森阪 裕之、佐野 勝廣、本杉宇太郎、市川 智章、
荒木 力
山梨大学医学部 放射線科

17:10~ 閉会の挨拶

ポスターディスカッション1

座長 本多 正徳 (済生会宇都宮病院 放射線科)

P-1 A) 門脈供血残存域, B) 早期濃染域, C) 遅延性濃染域が併存した肝細胞癌の1例

山田 哲、高橋 正明、藤田 顕、黒住 昌弘、藤永 康成、上田 和彦、
角谷 眞澄
信州大学医学部 画像医学講座

P-2 F-18 FDG-PET/CT検査にて経過観察しえた原発性肝神経内分泌腫瘍の1例

兵頭 朋子¹、松本 充¹、井上 達夫²、木村 雅友³、岡田 真広¹、柳生 行伸¹、
鶴崎 正勝¹、足利竜一郎¹、石井 一成¹、村上 卓道¹
近畿大学医学部 放射線医学教室 放射線診断学部門¹、近畿大学医学部 消化器内科²、
近畿大学医学部 病理学講座³

P-3 びまん性肝原発類上皮血管内皮腫の1例

戸田 悠介¹、原留 弘樹¹、雫石 崇¹、大森 裕子¹、阿部 修¹、永井晋太郎²、
中村 仁美²、楡井 和重²、森山 光彦²、杉谷 雅彦³
日本大学医学部 放射線医学分野画像診断学部門¹、
日本大学医学部 内科学系消化器肝臓内科学分野²、
日本大学医学部 病態病理学系形態機能病理学分野³

P-4 成人に発生した肝原発未分化肉腫の1例

袴田 裕人¹、福倉 良彦¹、井手上淳一¹、馬ノ段智一¹、上村 清央¹、米山 知秀¹、
内匠 浩二¹、馬ノ段 彩¹、中條 政敬¹、夏越 祥次²、東 美智代³
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 放射線診断治療学¹、
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 腫瘍制御学²、
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 人体がん病理学³

P-5 造影される壁在結節を有した出血性肝嚢胞の1例

堀越 琢郎¹、本折 健¹、井上 幸平¹、東出 高至¹、横田 元¹、大塚 将之²、
宮崎 勝²、岸本 充³、宇野 隆¹
千葉大学大学院医学研究院 画像診断・放射線腫瘍学¹、
千葉大学大学院医学研究院 臓器制御外科学²、千葉大学大学院医学研究院 病態病理学³

P-6 高度の内部壊死により術前診断が困難であった直腸癌・転移性肝腫瘍の1例

清水徹一郎¹、歌野 健一²、巷野 佳彦¹、鯉沼 広治¹、宮倉 安幸¹、佐久間康成¹、
堀江 久永¹、安田 是和¹
自治医科大学 消化器一般外科¹、自治医科大学 放射線科²

ポスター展示

P-7 肝転移との判別が困難であった肝ペリオシスの1例－US/CT/MRI所見について－

能勢 隼人、棚上 彰仁、島津 秀樹

麻植協同病院 放射線科

P-8 Biliary cystadenomaの1例

角 明子^{1, 2}、内田 政史^{1, 3}、東南 辰幸¹、長田 周治¹、竹中 美貴^{2, 4}、
野村 頼子^{2, 4}、椿 史裕⁵、馬場 健吉⁵、堀内 彦之⁴、中島 収⁶、矢野 博久²、
早瀬 尚文¹

久留米大学 放射線医学教室¹、久留米大学 病理学講座²、久留米大学医療センター 放射線科³、
久留米大学 外科学講座⁴、済生会日田病院 放射線科⁵、久留米大学病院 臨床検査部⁶

ポスターディスカッション2

座長 五島 聡 (岐阜大学医学部附属病院 放射線科)

P-9 胆管内乳頭状腫瘍 (IPNB) の1例

野田 靖文、東 浩樹、八十川和哉、檜垣 篤、佐藤 朋宏、神吉 昭彦、

山本 亮、玉田 勉、伊東 克能

川崎医科大学 放射線科

P-10 肝嚢胞として3年の経過観察されていたIPNBの1例

小川 真代¹、丸上 永晃²、高濱 潤子³、丸上 亜希³、吉川 公彦³、豊原 眞久⁴、
野見 武男⁵、高野 将人⁶

済生会中和病院 放射線科¹、奈良県立医科大学 中央内視鏡・超音波部²、
奈良県立医科大学 放射線科³、奈良県立医科大学 消化器内科⁴、奈良県立医科大学 消化器外科⁵、
奈良県立医科大学 病理診断学講座⁶

P-11 胆管内乳頭状腫瘍 (IPNB) 3例の画像所見の検討

山本 聖人¹、坪山 尚寛¹、金 東石²、山本 和宏¹、熊野 正士¹、小山 光博¹、
結城 雅子¹、赤木 弘之¹、稲田 悠紀¹、鳴海 善文¹

大阪医科大学附属病院 放射線医学教室¹、大阪大学大学院医学系研究科 放射線統合医学講座²

P-12 胆嚢管に発生した顆粒細胞腫の1例

市川新太郎¹、佐野 勝廣¹、本杉宇太郎¹、森阪 裕之¹、市川 智章¹、荒木 力¹、
河野 寛²、板倉 淳²、藤井 秀樹²

山梨大学医学部 放射線科¹、山梨大学医学部 第一外科²

P-13 胆摘後の総胆管神経腫の1例

吉岡 真二¹、神崎 博充¹、福山 直紀¹、平田 雅昭¹、浦島 雄介¹、村田 繁利¹、
西崎 隆²、大城 由美³

松山赤十字病院 放射線科¹、松山赤十字病院 外科²、松山赤十字病院 病理部³

P-14 胆管アスペルギルス症の1例

荒木 久寿、吉廻 毅、勝部 敬、中村 恩、中村 友則、山本 伸子、
荒木 和美、石橋 恵美、丸山 光也、福庭 栄治、吉田 理佳、河原 愛子、
丸山美奈子、北垣 一
島根大学医学部 放射線科

P-15 胃癌肝転移に対する肝動注化学療法中に広範な胆管壊死を来した1例

折戸 信暁¹、蒲田 敏文¹、小坂 一斗¹、小林 聡¹、眞田順一郎¹、植田 文明¹、
香田 渉¹、南 哲弥¹、北尾 梓¹、油野 裕之¹、井上 大¹、吉田耕太郎¹、
扇 尚弘¹、永井 圭一¹、松井 謙¹、茅橋 正憲¹、松原 崇史¹、坊 早百合¹、
松井 修¹、尾山 勝信²
金沢大学医学部 放射線科¹、金沢大学医学部 消化器・乳腺・移植再生外科²

P-16 稀な組織型の進行胆嚢癌3症例

戸島 史仁¹、日野 祐資¹、荒川 文敬¹、佐々木正寿²、芝原 一繁²、前田 宜延³
富山赤十字病院 放射線科¹、富山赤十字病院 外科²、富山赤十字病院 病理科³

ポスターディスカッション3

座長 黒木 嘉典 (栃木県立がんセンター 画像診断部)

P-17 MRI拡散強調画像が第2癌の検出に有用だった同時多発浸潤性膵管癌の1例

加村 毅¹、佐藤 千尋²、角田 和彦³、小川 洋³、佐藤 攻³、森 茂紀⁴、
渡辺 史郎⁴、根本 啓一⁵、森田 俊⁵
信楽園病院 放射線診断科¹、新潟大学医歯学総合病院 放射線科²、信楽園病院 外科³、
信楽園病院 消化器内科⁴、信楽園病院 病理診断科⁵

P-18 広範な脾臓浸潤をきたした膵扁平上皮癌の1例

久能由記子¹、内田 政史¹、廣瀬 靖光¹、有川 俊二¹、魚住 淳¹、岡部 義信²、
安元真希子³、早瀬 尚文¹、角 明子¹、東南 辰幸¹
久留米大学医学部 放射線医学教室¹、久留米大学病院 消化器内科²、久留米大学病院 病理学講座³

P-19 膵漿液性嚢胞腺癌の1例

山室 博¹、山下 智裕¹、市川 珠紀¹、川田 秀一¹、原 拓也¹、関口 達也¹、
丸野 敦子²、小川 真美²、川口 義明²、中郡 聡夫³、中村 直哉⁴、今井 裕¹
東海大学医学部 専門診療学系画像診断学¹、東海大学医学部 消化器内科学²、
東海大学医学部 消化器外科学³、東海大学医学部 病理学⁴

P-20 膵全体に進展し、特異な進展形式を示した膵内分泌腫瘍の1例

武智 恵¹、津田 孝治¹、小岩原 元¹、田中 宏明¹、望月 輝一¹、田村 圭²、
藤山 泰二²、高田 泰次²、水野 洋輔³、杉田 敦郎³
愛媛大学医学部 放射線科¹、愛媛大学医学部 外科²、愛媛大学医学部 病理部³

ポスター展示

P-21 膵管内進展を来した膵内分泌腫瘍の1例

山田 篤史¹、左合 直¹、川上 義行²、太田 諒³
福井赤十字病院 放射線科¹、福井赤十字病院 外科²、福井赤十字病院 病理部³

P-22 Mixed acinar endocrine carcinomaの2例

一条 祐輔¹、西田 香織¹、寺山 耕司¹、安川 覚²、後藤眞理子¹、赤澤健太郎¹、
山田 恵¹
京都府立医科大学 放射線診断治療学¹、京都府立医科大学 病院病理部²

P-23 腫瘍の中心部に粗大な石灰化を呈したSPNの1例

三好 啓介、上田 高顕、田辺 昌寛、松永 尚文
山口大学医学部 情報解析医学系学域 放射線医学分野

P-24 外傷を契機に発見された小児膵SPNの1例

廣瀬 靖光¹、久能由記子¹、角 明子¹、内田 政史¹、早瀬 尚文¹、古賀 義法²、
八木 実²、谷川 健³、安元真希子³、鹿毛 政義³
久留米大学 放射線科¹、久留米大学 小児外科²、久留米大学 病理³

ポスターディスカッション4

座長 信澤 宏 (川崎幸病院 放射線診断科)

P-25 膵嚢胞状リンパ管腫の1例

戸上 泉¹、坪井 有加¹、長谷川 明¹、守都 常晴¹、石原 節子¹、安井光太郎¹、
齋藤 玄哲²、藤井 雅邦²、仁熊 健文³、児島 亨³、三村 哲重³、能勢総一郎⁴、
浜家 一雄⁴
岡山済生会総合病院 放射線科¹、岡山済生会総合病院 内科²、岡山済生会総合病院 外科³、
岡山済生会総合病院 病理⁴

P-26 膵神経鞘腫の1例

永井 圭一¹、蒲田 敏文¹、小林 聡¹、南 哲弥¹、小坂 一斗¹、井上 大¹、
吉田耕太郎¹、八木 俊洋¹、松井 修¹、北川 裕久²、池田 博子³
金沢大学 放射線科¹、金沢大学 消化器・乳腺・移植再生外科²、金沢大学 病理科³

P-27 膵管内管状乳頭腫瘍の1例

大野 豪¹、磯田 裕義¹、山下 力也¹、川原 清哉¹、清水 大功¹、古田 昭寛¹、
中本 裕士¹、富樫かおり¹、川口 道也²、高折 恭一²、南口早智子³
京都大学医学部附属病院 放射線診断科¹、京都大学医学部附属病院 肝胆膵・移植外科²、
京都大学医学部附属病院 病理診断科³

P-28 破裂脾血管肉腫の1例

信澤 宏¹、高柳 美樹¹、高瀬 博康¹、西村 潤一²、長谷聡一郎²、小池 祐哉²、
桶田 理喜³、徳留 隆博³
川崎幸病院 放射線診断科¹、川崎幸病院 I V R科²、川崎幸病院 病理³

P-29 びまん性骨転移を契機に発見された脾血管肉腫の1例

渡辺早奈絵¹、岩間 祐基¹、泉山 一隆¹、池添世里子²、柳川 和範²、乾 由明²、
柏崎 正樹³、岡 一雅⁴
県立西宮病院 放射線科¹、県立西宮病院 内科²、県立西宮病院 外科³、県立西宮病院 病理⁴

P-30 脾SANTの1例

堀川 雅弘¹、新本 弘¹、曾我 茂義¹、岡村 哲平¹、高城 健²、穂刈 量太²、
青笹 季文³、宮居 弘輔⁴、江戸 博美¹、中森 貴俊¹、山田謙太郎¹、富田 浩子¹、
田村 千春¹、渡邊 定弘¹、喜多 保¹、山本 真由¹、川内 利夫¹、加地 辰美¹、
渡邊 智記³、島崎 英幸⁴
防衛医科大学校 放射線医学講座¹、防衛医科大学校 消化器内科²、防衛医科大学校 外科³、
防衛医科大学校 検査部⁴

P-31 脾内限局性腫瘍性病変の所見を呈した髓外造血巣の1例

藤本 弥臣¹、高田 陽子¹、佐々木智章¹、山田 有則¹、八巻 利弘¹、渡邊 尚史¹、
村田 理恵¹、高林江里子¹、高橋 康二¹、及川 賢輔²、三代川斎之²
旭川医科大学 放射線医学講座¹、旭川医科大学病院 病理部²

ポスターディスカッション5

座長 石川 勉 (獨協医科大学 放射線科)

P-32 びまん性胃粘膜下異所腺を伴う進行胃癌の1例

水野まゆみ¹、小南 公人¹、山下 昌次¹、石塚 祐人²、島田 哲也³
独立行政法人 国立病院機構 埼玉病院 放射線科¹、独立行政法人 国立病院機構 埼玉病院 外科²、
独立行政法人 国立病院機構 埼玉病院 病理学科³

P-33 高度に石灰化した胃GISTの1例

広村 忠雄¹、川見 弘之²、西原 広史³
北斗病院 放射線科¹、北斗病院 消化器外科²、北斗病院 病理診断科³

P-34 胃捻転症の2例

井本 勝治、板橋健太郎、濱中 訓生、井上 明星、山崎 道夫、坂本 力
公立甲賀病院 放射線科

P-35 十二指腸乳頭部に発生したparagangliomaの1例

田口智香子¹、瀧川 政和¹、平川 耕大¹、大森 智子¹、堀田 綾子²、斉藤 生朗²
独立行政法人国立病院機構相模原病院 放射線科¹、
独立行政法人国立病院機構相模原病院 病理診断科²

P-36 不正性器出血で発症し、子宮頸癌と鑑別が問題となった壁外発育型S状結腸癌の2例

南口貴世介¹、高濱 潤子¹、伊藤 高広¹、高橋 亜希¹、丸上 永晃¹、吉川 公彦¹、
榎本 泰典²
奈良県立医科大学 放射線科¹、奈良県立医科大学 病理診断学教室²

ポスター展示

P-37 腎動脈下慢性大動脈閉塞に合併した腓周囲動脈瘤と結腸癌の1例

森阪 裕之、岡田 大樹、佐野 勝廣、市川新太郎、本杉宇太郎、荒木 拓次、
市川 智章、荒木 力
山梨大学医学部 放射線科

P-38 リンパ節転移に巨大な血腫を形成し診断に苦慮した直腸カルチノイドの1例

西尾 直子、嶋田功太郎、山本 貴之、大政 暁、尾谷 智史、渡部 正雄、
河村 晃、筒井 一成
日本赤十字社和歌山医療センター 放射線科

P-39 直腸の神経解剖が画像所見に反映された直腸蔓状神経線維腫の1例

坪山 尚寛¹、金 東石²、堀 雅敏²、大西 裕満²、中本 篤²、坂根 誠²、
森井 英一³、鳴海 善文¹
大阪医科大学 放射線医学教室¹、大阪大学 放射線医学講座²、大阪大学 病態病理学教室³

ポスターディスカッション6

座長 松木 充 (近畿大学 医学部放射線診断学講座)

P-40 腸管子宮内膜症の3例

崔 翔栄¹、竹山 信之¹、池田 真也²、林 高樹¹、黒木 一典¹、橋本 東児¹、
日比 健志³、楯 玄秀⁴、横溝 和晃³、梅本 岳宏³、増永 敦子⁴
昭和大学藤が丘病院 放射線科¹、昭和大学病院 放射線科²、昭和大学藤が丘病院 外科³、
昭和大学藤が丘病院 病院病理科⁴

P-41 体外衝撃波結石破碎術 (ESWL) 後小腸穿孔の1例

風岡 純一¹、橘 秀和²、亀山 周二²、日下部将史¹、村上 瑞穂¹、白水 一郎¹、
野田 正信¹、町田 徹¹
N T T東日本関東病院 放射線部¹、N T T東日本関東病院 泌尿器科²

P-42 消化管アミロイドーシスの2例

宗近 次朗¹、扇谷 芳光¹、後閑 武彦¹、東條 正幸²、下間 祐²、吉田 仁²、
矢持 淑子³、九島 巳樹³、滝本 雅文³、竹山 信之⁴、橋本 東児⁴、黒木優一郎⁵、
遠藤 豊⁵、光谷 俊幸⁶
昭和大学病院 放射線医学教室¹、昭和大学医学部 内科学講座消化器内科学部門²、
昭和大学医学部 病理学講座臨床病理診断学部門³、昭和大学藤が丘病院 放射線科⁴、
昭和大学藤が丘病院 消化器内科⁵、昭和大学藤が丘病院 病理科⁶

P-43 腸間膜出血を契機に診断に至ったアミロイドーシスの1例

大森 智子¹、瀧川 政和¹、平川 耕大¹、田口智香子¹、堀田 綾子²、齋藤 生朗²
国立病院機構相模原病院 放射線科¹、国立病院機構相模原病院 病理診断科²

P-44 小腸間膜神経鞘腫の1例

阿保 齊¹、望月健太郎¹、遠山 純¹、齊藤 順子¹、森永 響子¹、出町 洋¹、
松田耕一郎²、櫻井健太郎³、羽場 祐介³、川原 洋平³、寺田 逸郎³、清水 康一³、
相川あかね⁴、石澤 伸⁴、宮内 勉⁵

富山県立中央病院 放射線診断科¹、富山県立中央病院 消化器内科²、
富山県立中央病院 消化器外科³、富山県立中央病院 病理診断科⁴、
とやまPET画像診断センター 画像診断科⁵

P-45 胃脾間に発生し鑑別に苦慮したデスモイド腫瘍の1例

中尾 聖、上田 高顕、三好 啓介、小野田秀子、田辺 昌寛、松永 尚文
山口大学医学部附属病院 放射線科

P-46 腹部Desmoplastic small round cell tumorの1例

山本 幾¹、寺山 昇¹、小林 佳子¹、上村 良一¹、竹下 雅樹²、平田 昌義³、
岡田 英吉⁴、澤崎 邦廣²、野手 雅幸²、藪下 和久²、堀川 直樹²、小林 隆司²
高岡市民病院 放射線科¹、高岡市民病院 外科²、高岡市民病院 内科³、高岡市民病院 病理⁴

P-47 高分化脂肪肉腫がMFH様に脱分化し脾臓浸潤した1例

上田 高顕、田辺 昌寛、藤沢 利充、三好 啓介、中尾 聖、小野田秀子、
原田 祐子、徳田 修、松永 尚文
山口大学医学部 情報解析医学系学域 放射線医学分野

ポスターディスカッション7

座長 玉田 勉 (川崎医科大学 放射線医学 (画像診断1))

P-48 腎被膜由来と考えられた腎良性腫瘍の3例

池田 真也¹、竹山 信之¹、太田 道也²、佐々木春明²、楯 玄秀³、松井 青史⁴、
伊藤 隆志⁴、角田 幸雄⁵、黒木 一典¹、橋本 東児¹

昭和大学藤が丘病院 放射線科¹、昭和大学藤が丘病院 泌尿器科²、昭和大学藤が丘病院 病理科³、
横浜労災病院 放射線科⁴、横浜労災病院 病理科⁵

P-49 後腎性腺腫の2例

重里 寛¹、坪山 尚寛¹、稲田 悠紀¹、結城 雅子¹、熊野 正士¹、山本 和宏¹、
辻 求²、鳴海 善文¹

大阪医科大学 放射線医学教室¹、大阪医科大学 病理学教室²

P-50 Ossifying renal cell tumor of infancyの1例

麻谷 美奈¹、佐藤 卓¹、佐藤 章子¹、吉村 宣彦²、青山 英史¹

新潟大学大学院医歯学総合研究科 腫瘍放射線分野¹、新潟大学医歯学総合病院 放射線部²

P-51 出血性嚢胞を伴い腎実質内に発育した腎平滑筋肉腫の1例

橋本 彩¹、高濱 潤子²、丸上 永晃²、福住 明夫¹、岡島英二郎³、島田 啓司⁴、
今井 俊介⁴、吉川 公彦²

市立奈良病院 放射線科¹、奈良県立医科大学 放射線科²、市立奈良病院 泌尿器科³、
市立奈良病院 病理・臨床検査科⁴

P-52 BCG膀胱注入療法後の腎肉芽腫形成の2例

田中絵里子¹、佐藤 吉隆²、村石 懷²、内山 史生²、渡 潤²、川村 直樹³、
松本 光司⁴

JMA海老名メディカルプラザ 放射線科¹、JMA海老名総合病院 放射線科²、
JMA海老名総合病院 泌尿器科³、JMA海老名総合病院 病理診断科⁴

P-53 尿管 fibroepithelial polyp による尿管重積の1例

鈴木 邦仁¹、齋藤 和博¹、吉村 宜高¹、高良 憲一¹、大城 久²、中島 淳³、
赤田 壮市¹、徳植 公一¹

東京医科大学病院 放射線科¹、東京医科大学病院 病理診断部²、東京医科大学病院 泌尿器科³

P-54 ミュラー管遺残症候群の1例

佐藤 章子¹、木原 好則²、奥泉 譲²、麻谷 美奈¹、吉村 宣彦¹、酒井 剛³、
青山 英史¹

新潟大学医学部 放射線医学講座¹、新潟県立中央病院 放射線科²、新潟県立中央病院 病理診断科³

ポスターディスカッション8

座長 吉廻 毅（島根大学医学部附属病院 放射線部）

P-55 前立腺癌被膜外浸潤における前立腺周囲静脈叢のMRI所見：正常例との対比

仁品 祐¹、田嶋 強¹、森田 賢¹、田邊 一成²、坂井 修二¹

東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科¹、東京女子医科大学病院 泌尿器科²

P-56 陰嚢内平滑筋肉腫の1例

関口 達也¹、市川 珠紀¹、柳町 徳春¹、川田 秀一¹、山室 博¹、原 拓也¹、
梶原 博²、星 昭夫³、寺地 敏郎³、今井 裕¹

東海大学医学部 専門診療学系画像診断学¹、東海大学医学部 基盤診療学系病理診断学²、
東海大学医学部 外科学系泌尿器科学³

P-57 肺と両側副腎に腫瘤を生じたメトトレキサート関連リンパ増殖性疾患の1例

高橋 亜希、丸上 永晃、高濱 潤子、伊藤 高広、吉川 公彦

奈良県立医科大学 放射線科

P-58 後腹膜髄外性形質細胞腫の1例

西亀 正代¹、本田有紀子²、中村 優子²、海地 陽子²、古本 大典²、立神 史稔²、
伊達 秀二²、栗井 和夫²、豊田 尚之¹

独立行政法人 国立病院機構 呉医療センター 放射線診断科¹、広島大学 放射線診断科²

P-59 成人女性に偶然発見された後腹膜奇形腫の1例

田中宇多留¹、鷺尾 哲郎¹、西口 里央¹、東野 貴徳¹、丸田 力¹、岩村 博史²、三村 六郎³

姫路医療センター 放射線科¹、姫路医療センター 泌尿器科²、姫路医療センター 病理部³

P-60 著明な嚢胞性成分と石灰化を伴った後腹膜のカルチノイド腫瘍の1例

本田 菜也¹、小山 貴¹、前倉 拓也¹、塩崎 俊城¹、藤堂 義郎¹、鈴木 貴久²、中島 研郎²、那須 章洋³、若狭 朋子⁴

大阪赤十字病院 放射線診断科¹、大阪赤十字病院 外科²、大阪赤十字病院 消化器内科³、大阪赤十字病院 病理部⁴

P-61 画像上脂肪の同定が困難なため術前診断に苦慮した後腹膜腫瘍の2症例

本田有紀子¹、西亀 正代¹、中村 優子¹、海地 陽子¹、石川 美保¹、古本 大典¹、立神 史稔¹、伊達 秀二¹、池田健一郎²、梶原 充²、松原 昭郎²、栗井 和夫¹

広島大学大学院医歯薬学総合研究科 放射線医学教室¹、
広島大学大学院医歯薬学総合研究科 腎泌尿器科学²

ポスターディスカッション9

座長 林 敏彦 (JA埼玉県厚生連 久喜総合病院 放射線科)

P-62 短期間で劇的にMRI画像所見が変化した遺残絨毛組織の2例

坪山 尚寛¹、山本 和宏¹、金 東石²、中本 篤²、坂根 誠²、森井 英一³、鳴海 善文¹

大阪医科大学 放射線医学教室¹、大阪大学 放射線医学講座²、大阪大学 病態病理学教室³

P-63 嚢胞変性をきたした低悪性度子宮内膜間質肉腫の1例

元島 成信¹、染原有希子²、野元 麻子²、塩崎 宏²、吉満 輝行³、西村 和朗³、白水 信之³、川上 浩介³、松本 恵美³、藤吉 直樹³、熊谷 晴介³、ウロブレスキ順子³、牟田 満³、大藏 尚文³、田代賀比古¹

国立病院機構小倉医療センター 臨床検査科¹、国立病院機構小倉医療センター 放射線科²、国立病院機構小倉医療センター 産婦人科³

P-64 子宮腺線維腫の1例

扇谷 芳光¹、笹森 寛人¹、宗近 次郎¹、西城 誠¹、須山 淳平¹、崔 翔栄¹、小野田 結¹、石塚久美子¹、廣瀬 正典¹、後閑 武彦¹、飯塚 千祥²、森岡 幹²、岡井 崇²、九島 巳樹³

昭和大学医学部 放射線医学教室¹、昭和大学医学部 産婦人科学教室²、昭和大学病院 病理診断科³

P-65 子宮腺肉腫の1例

岡崎 肇¹、黒瀬 太一¹、小林 昌幸¹、門前 芳夫¹、西阪 隆²

県立広島病院 放射線診断科¹、県立広島病院 臨床研究検査科²

ポスター展示

P-66 子宮頸部絨毛腺管状粘液性腺癌の1例

竹内麻由美¹、松崎 健司¹、原田 雅史¹、古本 博孝²、榊 美佳³、坂東 良美³
徳島大学医学部 放射線科¹、徳島大学医学部 産婦人科²、徳島大学医学部 病理部³

P-67 子宮頸部から発生した悪性末梢神経鞘腫瘍の1例

深谷 哲昭¹、荒川 敬一²、黒田 健治²、成高 和稔²、久力 権³
焼津市立総合病院 放射線科¹、焼津市立総合病院 婦人科²、焼津市立総合病院 病理科³

P-68 子宮頸部に発生した明細胞癌の1例

大谷 紗代¹、小山 貴¹、前倉 拓也¹、塩崎 俊城¹、藤堂 義郎¹、三瀬 有香²、
吉岡 信也²、若狭 朋子³
大阪赤十字病院 放射線診断科¹、大阪赤十字病院 産婦人科²、大阪赤十字病院 病理部³

ポスターディスカッション10

座長 田村 綾子（東京北社会保険病院 放射線科）

P-69 卵巣線維腫症の1例

加藤 博基¹、兼松 雅之¹、古井 辰郎²、森重健一郎²、廣瀬 善信³、星 博昭⁴
岐阜大学医学部 放射線科¹、岐阜大学医学部 成育医療科・女性科²、岐阜大学医学部 病理部³、
岐阜大学大学院医学系研究科 放射線医学⁴

P-70 卵巣線維腫のMRI所見；腫瘍内嚢胞に注目した画像所見の検討

大野 裕美¹、加藤 博基¹、星 博昭¹、兼松 雅之¹、古井 辰郎²、森重健一郎²、
波多野裕一郎³
岐阜大学医学部 放射線科¹、岐阜大学医学部 成育医療科・女性科²、岐阜大学医学部 病理部³

P-71 WAGR症候群に合併した異所性卵巣由来と思われた未分化胚細胞腫の1例

渋谷 剛一¹、小野 修一¹、三浦 弘行¹、二神 真行²、三浦 理絵²、対馬 史泰¹、
掛端 伸也¹、角田 晃久¹、徳田 俊英¹、高井 良尋¹、清野 浩子¹
弘前大学大学院医学研究科 放射線科学講座¹、弘前大学大学院医学研究科 産科婦人科学講座²

P-72 Gynandroblastomaの1例

高橋 正洋¹、小澤 栄人¹、渡邊 祐亮¹、岡田 吉隆¹、井上 快児²、加藤 智美³、
安田 政実³、藤原 敬一⁴
埼玉医科大学国際医療センター 画像診断科¹、埼玉医科大学病院 放射線科²、
埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科³、埼玉医科大学国際医療センター 婦人科腫瘍科⁴

P-73 卵巣低分化型セルトリ細胞腫瘍の1例

徳田 修、上田 高顕、松永 尚文
山口大学医学部 放射線科

P-74 卵巢脂質細胞腫瘍：11年後に腹腔内再発した1例

和田 慎司¹、水沼 仁孝¹、北岡 芳久²、雨宮 哲³、城戸 啓³
那須赤十字病院 放射線科¹、那須赤十字病院 産婦人科²、那須赤十字病院 外科³

P-75 中枢神経成分を伴った卵巢奇形腫の1例

茅橋 正憲¹、蒲田 敏文¹、吉田耕太郎¹、扇 尚弘¹、折戸 信暁¹、松井 謙¹、
八木 俊洋¹、松井 修¹、土肥 聡²、佐々木 徹²、田中 政彰²、池田 博子³
金沢大学 経血管診療学¹、金沢大学 産婦人科²、金沢大学 病理部³

クイズ展示 6月21日(金)

Q-1

東京医科歯科大学医学部附属病院 画像診断・放射線治療科¹、
東京医科歯科大学医学部附属病院 肝胆脾外科²、東京医科歯科大学医学部附属病院 病理部³
中館 雅志¹、北詰 良雄¹、伴 大輔²、渡辺まゆ美³、大橋 勇¹、渋谷 均¹

Q-2

甲南病院 放射線科¹、甲南病院 外科²、甲南病院 病理部³
進藤美智子¹、平田 勇三¹、塚本 好彦²、村松三四郎²、村尾 眞一³

Q-3

神戸市立医療センター中央市民病院 放射線診断科¹、神戸市立医療センター中央市民病院 外科²、
神戸市立医療センター中央市民病院 臨床病理科³
倉田 靖桐¹、有蘭 茂樹¹、日野田卓也¹、上田 浩之¹、伊藤 亨¹、三木 明²、
市川 千宙³、今井 幸弘³、日野 恵¹、尾谷 知亮¹

Q-4

国際医療福祉大学三田病院 放射線科¹、国際医療福祉大学病院 放射線科²、
国際医療福祉大学病院 腎泌尿器外科³
國松奈津子¹、山内栄五郎²、稲野 祥子¹、稲井 広夢³、縄野 繁¹

Q-5

住友病院 放射線科¹、住友病院 婦人科²、住友病院 病理部³、神戸大学医学部附属病院 放射線科⁴
杉原 良¹、鮫島 義弘²、藤田 茂樹³、山本 浩詞¹、杉村 和朗⁴

Q-6

大分大学医学部医学科 臨床医学系内科系臨床医学群放射線医学講座¹、
大分大学医学部医学科 産科婦人科学講座²、大分大学医学部附属病院 病理部³
小宮 裕¹、田上 秀一¹、岡田 文人¹、松本 俊郎¹、森 宣¹、松本 治伸²、
加島 健司³

Q-7

筑波大学 医学医療系 放射線医学¹、筑波大学 医学医療系 産婦人科学²、
国立がん研究センター中央病院 婦人腫瘍科³、筑波大学附属病院 病理学の診断⁴、
筑波大学附属病院 放射線診断・IVR⁵
田中優美子¹、岡田 智志^{2, 3}、坂田 晃子⁴、斎田 司¹、橋本美智子⁵、吉川 裕之²、
野口 雅之⁵、南 学¹